



Cisco IP 電話 7800 シリーズ ユーザ ガイド

初版：2015 年 11 月 25 日

最終更新：2021 年 11 月 19 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2015–2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

電話機 1

Cisco IP 電話 7800 シリーズ 1

新機能および変更された機能に関する情報 2

ファームウェア リリース 14.1(1) の新機能および変更された機能に関する情報 2

ファームウェア リリース 14.0(1) の新機能および変更された機能に関する情報 2

ファームウェア リリース 12.8(1) の新機能および変更された機能に関する情報 3

ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能に関する情報 3

ファームウェア リリース 12.6(1) の新機能および変更された機能に関する情報 3

ファームウェア リリース 12.5(1)SR3 の新情報および変更された情報 4

ファームウェア リリース 12.5(1)SR2 の新情報および変更された情報 4

ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 の新情報および変更された情報 4

ファームウェア リリース 12.5(1) の新機能および変更された機能に関する情報 5

ファームウェア リリース 12.1(1)SR1 の新情報および変更された情報 5

ファームウェア リリース 12.1(1) の新機能および変更された機能に関する情報 5

ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能に関する情報 5

ファームウェア リリース 11.7(1) の新機能および変更された機能に関する情報 5

ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 の新情報および変更された情報 5

ファームウェア リリース 11.5(1) の新機能および変更された機能に関する情報 6

ファームウェア リリース 11.0 の新機能および変更された機能に関する情報 6

機能サポート 7

電話機のセットアップ 7

ハンドセット レストの調整 7

電話機の設置角度の変更 8

ネットワークへの接続 8

電話機とコンピュータとのネットワーク接続の共有	8
アクティベーションコード オンボーディングを使用した接続	9
Expressway への接続	9
サービス モードの変更	10
既存の電話機から新しい電話機への交換	10
電話機のアクティブ化とサインイン	11
電話機へのサインイン	11
別の電話機からの内線へのサインイン	11
別の電話機で内線からサインアウトする	12
Cisco ヘッドセットを使用したエクステンション モビリティへのログイン	12
セルフ ケア ポータル	13
短縮ダイヤル番号	14
ボタンとハードウェア	16
電話機のキーパッドの文字	18
メニュー操作	18
ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン	19
電話スクリーンの機能	20
電話アイコン	20
電話スクリーンのクリーニング	21
における電話のコールと回線の違い	21
電力要件	22
電話ファームウェアとアップグレード	22
電話機のアップグレードの延期	22
電話ファームウェアのアップグレードの進行状況の表示	23
省電力	23
電話機をオンにする	24
追加のヘルプと情報	24
アクセシビリティ機能	24
トラブルシューティング	25
における電話機に関する情報の取得	25
通話品質の問題を報告する	25

での電話機のすべての問題を報告する	26
電話機の接続の切断	26
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	26

第 2 章**コール 27**

オーディオパスの選択	27
コールの発信	28
電話をかける	28
ホットライン電話で電話をかける	28
スピーカーフォンによるコールの発信	28
標準ヘッドセットを使用したコールの発信	29
番号をリダイヤルする	29
短縮ダイヤル	29
短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信	30
短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信	30
ファストダイヤル ボタンを使用したコールの発信	31
国際番号のダイヤル	31
連絡先が対応可能な場合の通知の受信	31
課金コードまたは承認コードを必要とするコール	32
安全なコール	32
コールへの応答	32
コールへの応答	33
コール待機への応答	33
コールの拒否	33
サイレントをオンにする	33
同僚の電話機に応答する（コール ピックアップ）	34
グループ内のコールに応答する（ピックアップ）	34
別のグループからのコールの応答（グループ ピックアップ）	34
関連するグループからのコールの応答（その他のピックアップ）	35
ハント グループ内のコールに応答する	35
ハント グループへのログインとハントグループからのログアウト	36

ハン ト グループでの通話キューの表示	36
コールに自動応答する	36
不審なコールのトレース	37
コールのミュート	37
コールの保留	38
コールを保留にする	38
長時間にわたって保留されているコールに応答する	38
アクティブ コールと保留コールの切り替え	38
Cisco IP 電話 7811 上でのアクティブ コールと保留中のコールの切り替え	39
コール パーク	39
コール パークを使用してコールを保留にする	39
コール パークを使用して保留中コールを取得する	40
処理されたダイレクト コール パークを使用してコールを保留状態にする	40
処理されたダイレクト コール パークを使用して保留中コールを取得する	41
手動ダイレクト コール パークを使用してコールを保留状態にする	41
手動ダイレクト コール パークを使用して保留中コールを取得する	41
コールの転送	41
通話の転送	42
Voice Mail へのコール転送	42
別のユーザにコールを転送する	43
転送を行う前の会話	43
電話会議とミーティング	44
コールへの別のユーザの追加 (7811)	44
コールへの別のユーザの追加 (7821、7841、7861)	44
会議を確立する前にコール間を切り替える	44
会議参加者の表示と削除	45
スケジュール済み会議コール (ミー ト ミー)	45
ミー ト ミー会議の開催	45
ミー ト ミー会議への参加	46
インターコム コール	46
インターコム コールの発信	46

インターコム コールへの応答	47
通話の監視と録音	47
監視されたコールの設定	47
通話の録音	48
優先コール	48
プライオリティ コールを発信する	49
プライオリティ コールに応答する	49
別のコールで通話している間にプライオリティ コールに応答する	50
複数の回線	50
プライマリ回線でのすべてのコールの表示	50
最も古いコールから応答	50
電話機ですべてのコールを表示する	50
51	
共有回線のコールに参加する	51
共有回線でのプライバシーの有効化	51
モバイル コネクトを使用した通話	52
モバイル コネクトの有効化	53
デスクフォンから携帯電話にコールを移動する	53
携帯電話からデスクフォンにコールを移動する	53
携帯電話からデスクフォンにコールを転送する	54
ボイスメール	54
ボイスメール メッセージの表示	54
ボイスメール メッセージへのアクセス	55
音声ボイスメールへのアクセス	55

第 3 章

連絡先 57

社内ディレクトリ	57
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	57
パーソナルディレクトリ	57
パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト	58
パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する	58

パーソナルディレクトリの連絡先の検索	58
パーソナルディレクトリの連絡先に発信する	59
連絡先にファストダイヤルコードを割り当てる	59
ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信	60
パーソナルディレクトリの連絡先を編集する	60
パーソナルディレクトリから連絡先を削除する	60
ファストダイヤルコードの削除	61
Cisco Web Dialer	61

第 4 章**通話履歴 63**

通話履歴リスト	63
最近の通話履歴を表示する	63
最近の通話履歴に戻る	64
最近の通話履歴を消去する	64
コールレコードの削除	65

第 5 章**アプリケーション 67**

使用できるアプリケーション	67
アクティブアプリケーションの表示	67
アクティブアプリケーションの切り替え	68
アクティブアプリケーションの終了	68

第 6 章**[設定 (Settings)] 69**

[設定 (Settings)] メニュー	69
呼出音の変更	69
コントラストの調整	69
電話画面のバックライトの調整	70
電力節約モードのキー LED の選択をオフにする	70
コール中に音量を調節する	71
着信音量の調節	71
電話機の表示言語	71

第 7 章

アクセサリ 73

- サポートされるアクセサリ 73
- 電話機に関連付けられたアクセサリの表示 74
- 電話機モデルの確認 75
- ヘッドセット 75
 - ヘッドセットの安全性に関する重要な情報 75
 - Cisco ヘッドセット 500 シリーズ 75
 - Cisco ヘッドセット 561 および 562 ボタンおよび LED 79
 - Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース 81
 - Cisco ヘッドセット 561 と 562(マルチベース付属) 82
 - サードパーティ製ヘッドセット 86
 - 音質 87
 - 有線ヘッドセット 87
 - ワイヤレス ヘッドセット 88
 - ヘッドセットの電話機への接続 88
 - 標準ヘッドセットの接続 88
 - Y 字ケーブルを使用した Cisco の標準ベースの接続 89
 - ヘッドセットの着信呼び出し音の設定の変更 89
 - Cisco IP 電話でシスコヘッドセットのファームウェアをアップデートする 89
 - 電話でのヘッドセットの設定 90
 - 電話機からの Cisco ヘッドセット設定のリセット 90
 - ヘッドセット フィードバックの調整 90
 - ワイドバンド標準ヘッドセットのセットアップ 91
 - 電話機での電子フックスイッチ制御の有効化 91
 - コール中のヘッドセットの切り替え 92
 - Cisco ヘッドセットのトラブルシューティング 92
 - ヘッドセットが登録されていることを確認する 92
 - ヘッドセットで音が聞こえない 92
 - 低音質 93
 - マイクが音を拾わない 94

ヘッドセットが充電されない	94
ヘッドセットバッテリーが充電されない	95
シリコンカバー	95
Cisco IP 電話シリコンカバーの取り付け	97
Cisco IP 電話ハンドセットカバーの取り付け	98
シリコンカバーの清掃	99

第 8 章

製品の安全性とセキュリティ 101

安全性とパフォーマンスに関する情報	101
停電	101
外部デバイス	101
電話機に電源を供給する方法	102
ネットワーク輻輳時の電話機の挙動	102
UL 警告	102
EnergyStar	103
製品ラベル	103
適合宣言	103
適合宣言（欧州連合）	103
CE マーキング	103
適合宣言（カナダ）	103
適合宣言（ニュージーランド）	104
接続許可（PTC）の一般警告	104
適合情報（ブラジル）	104
適合情報（日本）	105
FCC 適合宣言	105
FCC Part 15.19 に関する宣言	105
FCC Part 15.21 に関する宣言	105
FCC RF 被曝に関する宣言	105
FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言	105
シスコ製品のセキュリティの概要	106
重要なオンライン情報	106



第 1 章

電話機

- Cisco IP 電話 7800 シリーズ (1 ページ)
- 電話機のセットアップ (7 ページ)
- 電話機のアクティブ化とサインイン (11 ページ)
- セルフ ケア ポータル (13 ページ)
- ボタンとハードウェア (16 ページ)
- 電力要件 (22 ページ)
- 電話ファームウェアとアップグレード (22 ページ)
- 省電力 (23 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (24 ページ)

Cisco IP 電話 7800 シリーズ

Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。

図 1: Cisco IP 電話 7800 シリーズ



次の表に、Cisco IP 電話 7800 シリーズの主な機能を示します。


表 1: Cisco IP 電話 7800 シリーズの主な機能

フィーチャ	7811	7821	7841	7861
画面	グレースケール、バックライトなし	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり
回線 (Lines)	1	2	4	16

フィーチャ	7811	7821	7841	7861
固定機能キー	8	9	9	9

電話機をネットワークに接続して、コール制御システムへの接続を設定する必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をどのようにセットアップしたかによって、すべての機能を使用できるかどうかが決まります。

電話機に機能を追加した場合は、一部の機能に回線ボタンが必要になります。ただし、電話機の手動ボタンのそれぞれは1つの役割（1つの回線、1つの短縮ダイヤル、または1つの機能）しかサポートできません。電話機の手動ボタンがすでに使用されている場合は、電話機にそれ以外の機能が表示されません。

所有している電話機のモデルを確認するには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

新機能および変更された機能に関する情報

ファームウェア リリース 14.1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

次の情報は、ファームウェアリリース14.1(1) で新規追加または変更されたものです。

機能	新機能および変更情報
設定可能な遅延 PLAR	ホットライン電話で電話をかける, on page 28
Cisco ヘッドセットを使用したエクステンション モビリティ ログインの MRA サポート	Cisco ヘッドセットを使用したエクステンション モビリティへのログイン, on page 12

ファームウェア リリース 14.0(1) の新機能および変更された機能に関する情報

表 2: 新機能および変更情報

機能	新機能および変更情報
ハントグループの機能拡張	通話履歴リスト (63 ページ)
Cisco ヘッドセット 500 シリーズの新しいメニュー設定	ヘッドセットの着信呼び出し音の設定の変更 (89 ページ)
ヘッドセットのアップグレードの進行状況インジケータ	Cisco IP 電話でシスコ ヘッドセットのファームウェアをアップデートする (89 ページ)

ファームウェア リリース 12.8(1) の新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、ファームウェア リリース 12.8(1) で加えられた変更を示します。

表 3: ファームウェア リリース 12.8(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 の改訂

機能	新しいまたは変更されたコンテンツ
エクステンションモビリティのログインの簡素化Cisco ヘッドセット500 シリーズ	Cisco ヘッドセットを使用したエクステンションモビリティへのログイン (12 ページ) ヘッドセットをユーザ情報に関連付ける
電話データの移行	既存の電話機から新しい電話機への交換 (10 ページ)

ファームウェア リリース 12.7(1) の新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、ファームウェア リリース 12.7(1) で加えられた変更を示します。

表 4: ファームウェア リリース 12.7(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
キーLEDと省電力の選択が更新されました。	省電力 (23 ページ) 電力節約モードのキーLEDの選択をオフにする (70 ページ)
E フック用に更新。	電話機での電子フックスイッチ制御の有効化 (91 ページ)
コールアラートのハントグループコールについて更新しました	ハントグループ内のコールに応答する (35 ページ)
Cisco ヘッドセット 500 シリーズファームウェアリリース 1.5 の変更	
全般的な変更	特定の状況において、ユーザがダイヤルした番号が通話中の場合に、リオーダー音を受信していました。このリリースでは、ユーザには話中音が聞こえます。 新規セクション 電話アイコン (20 ページ)

ファームウェア リリース 12.6(1) の新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、ファームウェア リリース 12.6 (1) で加えられた変更を示します。

表 5: ファームウェア リリース 12.6(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
電話機とコンピュータ間のネットワーク接続の共有に関するセクションが追加されました。	電話機とコンピュータとのネットワーク接続の共有 (8 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1)SR3 の新情報および変更された情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表に、ファームウェア リリース 12.5 (1) SR3 で加えられた変更を示します。

表 6: ファームウェア リリース 12.5(1)SR3 に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
ヘッドセット設定のリセットのサポートが追加されました。	電話機からの Cisco ヘッドセット設定のリセット (90 ページ)
新しいトピック	電話機のキーパッドの文字 (18 ページ)
新しいトピック	電話機とコンピュータとのネットワーク接続の共有 (8 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1)SR2 の新情報および変更された情報

ファームウェア リリース 12.5(1)SR2 にはユーザ ガイドの更新は必要ありません。

ファームウェア リリース 12.5(1)SR2 は、ファームウェア リリース 12.5(1)およびファームウェア 12.5(1)SR1 を置き換えます。ファームウェア リリース 12.5(1)および 12.5(1)SR1 は、12.5(1)SR2 を優先して延期されています。

ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 の新情報および変更された情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表に、ファームウェア リリース 12.5 (1) SR1 で加えられた変更を示します。

表 7: ファームウェア リリース 12.5(1)SR1 に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
アクティベーションコード オンボーディングを使用した接続	アクティベーションコード オンボーディングを使用した接続 (9 ページ)
Cisco ヘッドセット 561 と 562 マルチベース	Cisco ヘッドセット 561 と 562(マルチベース付属) (82 ページ)

ファームウェア リリース 12.5(1) の新機能および変更された機能に関する情報

すべての Cisco Unified Communications Manager リリースをサポートするよう Cisco Unified Communications Manager のマニュアルに対するすべての参照が更新されています。

次の表に、ファームウェアリリース 12.5 (1) で加えられた変更を示します。

表 8: ファームウェア リリース 12.5(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
Cisco Unified Communications Manager Express	インターコム コール (46 ページ)
ハンドセットを無効にして、音声パスをヘッドセットに保持できるようにします。	オーディオ パスの選択 (27 ページ)
Cisco ヘッドセット 561 および 562	Cisco ヘッドセット 500 シリーズ (75 ページ)

ファームウェア リリース 12.1(1)SR1 の新情報および変更された情報

ファームウェア リリース 12.1(1)SR1 に必要な更新はありませんでした。

ファームウェア リリース 12.1(1) の新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、ファームウェアリリース 12.1 (1) で加えられた変更を示します。

表 9: ファームウェア リリース 12.1(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 シリーズ ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
Cisco ヘッドセット 531 および Cisco ヘッドセット 532 に関する内容を更新しました。	Cisco ヘッドセット 500 シリーズ (75 ページ)

ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能に関する情報

ファームウェア リリース 12.0(1) に必要な更新はありませんでした。

ファームウェア リリース 11.7(1) の新機能および変更された機能に関する情報

ファームウェア リリース 11.7(1) にはユーザ ガイドの更新は必要ありません。

ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 の新情報および変更された情報

次の表に、ファームウェアリリース 11.5 (1) SR1 で加えられた変更を示します。

表 10: ファームウェア リリース 11.5(1)SR1 に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
MLPP および応答付加のサポートの更新	サイレントをオンにする (33 ページ) 優先コール (48 ページ) プライオリティ コールに回答する (49 ページ)

ファームウェア リリース 11.5(1) の新機能および変更された機能に関する情報

カスタマー エクスペリエンスを向上させるために、このユーザ ガイドは簡素化され、再構成されています。

次の表に、ファームウェアリリース 11.5 (1) で加えられた変更を示します。

表 11: ファームウェア リリース 11.5(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
「電話機アップグレードの延期」に関して、次のセクションが追加されました。	電話ファームウェアとアップグレード (22 ページ)

ファームウェア リリース 11.0 の新機能および変更された機能に関する情報

カスタマー エクスペリエンスを向上させるために、このユーザ ガイドは簡素化され、再構成されています。

次の表に、ファームウェアリリース 11.0 (1) で加えられた変更を示します。

表 12: ファームウェア リリース 11.0(1) に合わせた Cisco IP 電話 7800 ユーザ ガイドの改訂

リビジョン	更新されたセクション
Problem Report Tool のサポートに関する次のセクションが追加されました。	での電話機のすべての問題を報告する (26 ページ)
cBarge と Barge に関する次のセクションが改訂されました。	(51 ページ)
サイレント (DND) に関する次のセクションが改訂されました。	サイレントをオンにする (33 ページ)

機能サポート

本ドキュメントでは、デバイスがサポートしている全機能について説明します。ただし、すべての機能がご利用中の設定でサポートされているとは限りません。サポートされている機能の詳細については、担当の管理者に問い合わせてください。

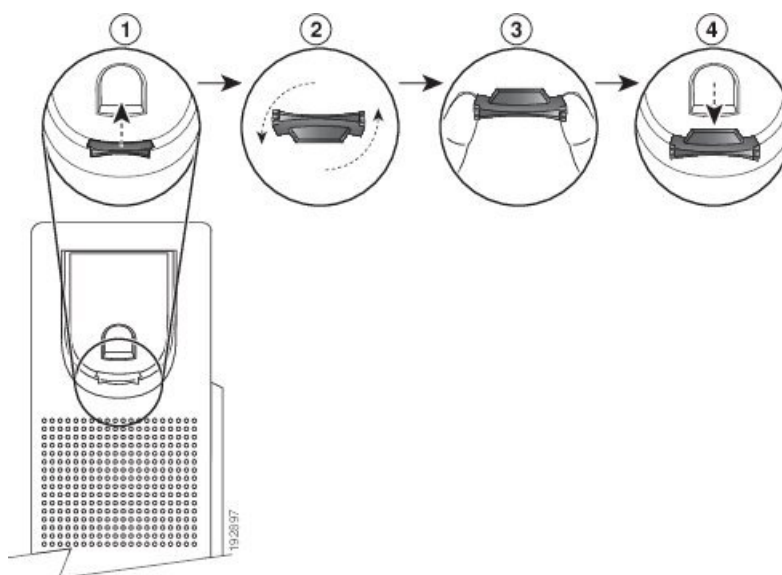
電話機のセットアップ

管理者が電話機をセットアップしてネットワークに接続します。お手元の電話機のセットアップと接続が完了していない場合は、管理者に問い合わせてください。

ハンドセットレストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。

図 2: ハンドセットレストの調整



手順

- ステップ 1** 受け台からハンドセットを外し、ハンドセットレストからプラスチックタブを引き出します。
- ステップ 2** タブを 180 度回します。
- ステップ 3** 角のノッチが手前になるように、2 本指でタブを持ちます。
- ステップ 4** タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。

ステップ5 ハンドセットをハンドセットレストに戻します。

電話機の設置角度の変更

画面が反射する場合は、電話機の角度を調節して反射を緩和できます（Cisco IP 電話 7811 を除く）。

手順

- ステップ1 電話機をネットワークから切り離します。
 - ステップ2 キーパッドが机の表面を向くように電話機を配置します。
 - ステップ3 一方の手でフットスタンドの片側を持ち、もう一方の手を電話機の上に置きます。
 - ステップ4 電話機を押さえながら、フットスタンドを持ち上げます。
 - ステップ5 フットスタンドをひっくり返します。
 - ステップ6 フットスタンドが固定されるまでフットスタンドを電話機に押し込みます。
 - ステップ7 電話機を立ててネットワークに接続します。
-

ネットワークへの接続

電話機をネットワークに接続する必要があります。

- 有線ネットワーク接続：電話機はイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続されます。

電話機をネットワークに接続すると、電話機が次のように設定される場合があります。

- Expressway でのモバイルまたはRemote Access：管理者が Expressway を介してモバイルまたはRemote Accessをセットアップして入る場合、電話機をネットワークに接続すると、その電話機は Expressway サーバに接続されます。

電話機とコンピュータとのネットワーク接続の共有

電話機とコンピュータの両方が機能するには、ネットワークに接続する必要があります。イーサネットポートが1つしかない場合、デバイスはネットワーク接続を共有できます。

始める前に

管理者は、使用する前に Cisco Unified Communications Manager の PC ポートを有効にする必要があります。

手順

ステップ1 イーサネット ケーブルを使用して、電話機の SW ポートを LAN に接続します。

ステップ2 コンピュータをイーサネット ケーブルで 電話機の PC ポートに接続します。

アクティベーションコード オンボーディングを使用した接続

ネットワークがこの機能をサポートするように構成されている場合は、アクティベーションコード オンボーディングを使用して会社の電話ネットワークに接続できます。

アクティベーションコードの入力

アクティベーションコードは、新しい電話機を設定するために使用されます。一度だけ使用でき、1週間後に期限切れになります。コードがわからない場合や、新しいコードが必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

手順

ステップ1 アクティベーション コードをアクティベーション画面に入力します。

ステップ2 [送信 (Submit)] を押します。

Expressway への接続

Expressway 経由でのモバイルおよびリモート アクセス を使用すると、オフィス外で勤務しているときでも社内ネットワークに接続できます。電話機には TFTP アドレスが設定されていないため、サインインプロセスを開始するための[ようこそ (Welcome)]画面が表示されます。

始める前に

これまでオフィスまたはVPNで電話機を使用してきた場合は、Expresswayに接続する前にサービス モードをリセットしてください。

Expressway 経由でのモバイルおよびリモート アクセス にオンプレミスで接続する必要がある場合、電話機を再起動し、ガイダンスに従って [選択 (Select)] を押します。

手順

ステップ1 [ウェルカム (Welcome)] 画面でアクティベーション コードまたはサービス ドメインを入力し、[続行 (Continue)] を押します。

ステップ2 ユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ3 [送信 (Submit)]を押します。

サービスモードの変更

電話機が既存のサーバに接続すると、5秒間にわたってビープ音が聞こえます。さらに、サービスモードを **Huron** に変更できることを示すアラートメッセージウィンドウが表示されます。

手順

ステップ1 サービスモードを変更するには：

- 電話機の [選択 (Select)] キーを押します。
- [設定 (Settings)]>[管理者設定 (Admin Settings)]>[設定のリセット (Reset Settings)]>[サービスモード (Service Mode)]を選択します。

電話機で VPN が非アクティブ化された後、電話機が再起動します。

ステップ2 [リセット (Reset)]を押すと、サービスを **Huron** に変更できます。

ステップ3 [キャンセル (Cancel)]を押すと、既存のサービスが保持されます。

既存の電話機から新しい電話機への交換

電話機のモデルを変更できます。この変更は、次のような理由で必要になる場合があります。

- Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) を、お使いの電話機モデルをサポートしていないソフトウェアバージョンにアップデートした。
- 電話機を現在のモデルからの別のモデルに変更したい。
- 電話機を修理または交換する必要がある

制限事項：古い電話機の回線または回線ボタンが新しい電話機よりも多い場合、新しい電話機で追加の回線または回線ボタンを設定することはできません。

設定が完了すると、電話機が再起動します。

始める前に

電話機の移行を有効にするには、管理者が Cisco Unified Communications Manager をセットアップする必要があります。

まだネットワークに接続していないか、事前に設定していない新しい電話機が必要です。

手順

-
- ステップ1 古い電話機の電源をオフにします。
 - ステップ2 新しい電話機の電源をオンにします。
 - ステップ3 プロンプトが表示されたら、アクティベーションコードを入力します。
 - ステップ4 [既存の電話を交換する (Replace an existing phone)] を選択します。
 - ステップ5 古い電話機のプライマリ エクステンションを入力します。
 - ステップ6 古い電話機に暗証番号を割り当ててあった場合は、PIN を入力します。
 - ステップ7 [送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ8 デバイスが複数台ある場合は、交換するデバイスをリストから選択して [続行 (Continue)] を押します。
-

電話機のアクティブ化とサインイン

場合によっては、電話機をアクティブ化したり、電話機にサインインしたりする必要があることがあります。電話機に対してアクティブ化を一度行うことで、電話機がコール制御システムに接続されます。サインインおよびアクティベーションの資格情報はシステム管理者より与えられます。

電話機へのサインイン

始める前に

ユーザ ID と暗証番号またはパスワードを管理者から取得します。

手順

-
- ステップ1 [ユーザ ID (User ID)] フィールドにユーザ ID を入力します。
 - ステップ2 [PIN] または [パスワード (Password)] フィールドに PIN またはパスワードを入力してから、[送信 (Submit)] を押します。
-

別の電話機からの内線へのサインイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。サインインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロファイルが適用されます。管理者が Cisco Extension Mobility サービスをセットアップします。

始める前に


ユーザ ID と PIN（暗証番号）を管理者から取得します。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  ボタンを押します。
- ステップ 2 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力します。
- ステップ 4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。

別の電話機で内線からサインアウトする

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] を選択します。
- ステップ 3 [はい (Yes)] を押してログアウトします。

Cisco ヘッドセットを使用したエクステンション モビリティへのログイン

Cisco Extension Mobility を使用すると、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。サインインした後、その電話機には、電話回線、機能、設定済みサービス、ウェブベースの設定などの自分のユーザプロファイルが適用されます。管理者が Cisco Extension Mobility サービスをセットアップします。

ヘッドセットサインインは、モバイルおよびリモートアクセス (MRA) でサポートされています。

Cisco ヘッドセット 500 シリーズ を他のユーザの電話機にプラグします。ヘッドセットがこの機能にアクセスするには、Y 字型ケーブルを使用する必要があります。

ヘッドセットがユーザ ID にマップされていない場合、最初にこの手順を実行したときに、電話機でヘッドセットを ID にマップするように求められ、Cisco Unified Communications Manager がヘッドセットをユーザレコードにマップします。プロンプトは、電話機の設定によって異なります。お使いのヘッドセットがマップされている場合、電話機はヘッドセットのシリアル番号に基づいてユーザ ID を取得し、エクステンションモビリティのログイン画面に ID を表示します。



- (注) ヘッドセットがアップグレード中またはコール中の場合は、関連付けを行うことができません。アップグレードが終了するか、またはコールが終了するのを待ってからこの手順を実行します。

ヘッドセットを取り外すと、ログアウトを確認しない限り、遅延の後にエクステンションモビリティからログアウトされます。

また、事前に決められたアイドル時間が経過すると、内線モビリティから自動的にサインアウトします。

始める前に

ヘッドセット ファームウェアのアップグレードを進行中には、この操作を実行できません。電話機はアイドル状態である必要があります。

手順

- ステップ 1** ヘッドセットを電話機に接続します。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、ユーザ ID と暗証番号を入力して、ヘッドセットをユーザ情報にマップします。
- ステップ 3** [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] 画面で、ユーザ ID と PIN を入力し、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 4** プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- ステップ 5** 終了したら、ヘッドセットを取り外します。
- ステップ 6** [サインアウト (Sign out)] を押します。

関連トピック

[ヘッドセットをユーザ情報に関連付ける](#)

セルフケアポータル

コンピュータからアクセス可能なセルフケアポータル Web サイトで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。セルフケアポータルは、組織の Cisco Unified Communications Manager の一部です。

セルフケアポータルにアクセスするための URL、ユーザ ID、およびパスワードが管理者から提供されます。

セルフケアポータルでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。

- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。
- 電話機サービスには、特別な電話機の機能、ネットワークデータ、Webベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスを電話機で利用するには、その前にセルフケアポータルを使って電話サービスを登録する必要があります。

セルフケアポータルを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。詳細については、ご使用のコール制御システムに関するセルフケアポータルのマニュアルを参照してください。

表 13: セルフケアポータルで利用可能な機能

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を使用します。セルフケアポータルを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線が話中状態の場合の動作など）をセットアップすることができます。
追加の電話機	デスクフォンと同じ電話番号を使ってコールを発信/受信できるように、追加の電話機（携帯電話など）を使用すること指定します。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送られるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選好を定義することもできます。追加の電話機をセットアップするときに、次の機能も設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • シングルナンバーリーチ：デスクフォンで着信したときに、追加の電話機が鳴動するかどうかを指定します。 • モバイルコール：追加の電話機が携帯電話である場合、モバイルコールからデスクフォンに、またはデスクフォンのコールから携帯電話に転送されるようセットアップできます。
短縮ダイヤル	頻繁に電話をかける相手の電話番号を短縮ダイヤル番号に割り当てます。

関連トピック

[モバイルコネクトを使用した通話](#) (52 ページ)

[短縮ダイヤル](#) (29 ページ)

[コールの転送](#) (41 ページ)

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線と通話するために最初に9をダイヤルする必要がある場合は、9に続けて相手の番号を入力します。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字は次のとおりです。

- 0～9
- 番号記号 (#)
- アスタリスク (*)
- カンマ (,) : これは一時停止文字で、2秒間の遅延の後にダイヤルを続けます。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金コードの間には1つのカンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみて、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルの相手先に接続した後で[リダイヤル (Redial)] を押すと、必要な承認コード、課金コード、またはその他の数字を手動で入力するように求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- **5556543** にコールするとします。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は **95556543,1234,9876,,56789#** となります。

関連トピック

[課金コードまたは承認コードを必要とするコール](#) (32 ページ)

[電話機のキーパッドの文字](#) (18 ページ)

ボタンとハードウェア

Cisco IP 電話 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP 電話 7811：画面の両側にボタンなし
- Cisco IP 電話 7821：画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7841：画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7861：画面の右側に 16 個のボタン











図 3: Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンと機能



次の表では、Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンとハードウェアについて説明します。

表 14: Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンと機能

1	ハンドセットとハンドセット ライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
---	------------------------	--

2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン (19 ページ) を参照してください。 Cisco IP 電話 7811 にはプログラム可能な機能ボタンや回線ボタンがありません。
3	[ソフトキー (Softkey)]ボタン	 機能とサービスにアクセスします。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン (19 ページ) を参照してください。
4	[ナビゲーション クラスタ (Navigation cluster)]	ナビゲーションリングおよび [選択 (Select)]  ボタン。メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択します。
5	保留/再開、会議、および転送	[保留/再開 (Hold/Resume)]  : アクティブコールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 会議  : 電話会議を作成します。 転送  : コールを転送します。
6	スピーカフォン、ミュート、およびヘッドセット	スピーカフォン  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 ミュート  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ヘッドセット (Headset)]  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。ヘッドセットモードを終了するには、ヘッドセットを取得するか、 [スピーカフォン (Speakerphone)]  を選択します。 Cisco IP 電話 7811 にはヘッドセット ボタンがありません。

7	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	<p>連絡先  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>アプリケーション  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>メッセージ  : ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします。</p>
8	音量 ボタン	 <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量（オフフック）と呼出音の音量（オンフック）を調整します。</p>

電話機のキーパッドの文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2～9のキーを押して、文字と数字を取得します。1、ゼロ(0)、アスタリスク(*)、番号記号(#)キーを特殊文字に使用できます。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 15: キーパッドの特殊文字

キーパッドのキー	特殊文字を使用する
1	/ . @ : ; = ? _ & %
0	(space) , ! ^ ' "
アスタリスク (*)	+ * ~ ` < >
番号記号 (#)	# \$ £ □ \ () { } []

メニュー操作

ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールし、フィールド間を移動します。ナビゲーションクラスタの内側の[選択 (Select)]ボタンを使用してメニュー項目を選択します。









メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- スクリーンの下にあるソフトキーを押すと、スクリーンに表示されている機能を使用できます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[次へ (More...)] ソフトキーは、さらに多くの機能が使用可能であることを示します。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
 - 機能ボタン：短縮ダイヤルやコールピックアップなどの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
 - 回線ボタンを使用すると、コールに応答したり、保留中のコールを再開したりできます。アクティブコールに対して使用されないときは、不在着信の表示などの電話機能を開始できます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

-  : LED が緑色に点灯—アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール
-  : LED が緑色に点滅する—コール保留中
-  : LED がオレンジ色に点灯—プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、またはハントグループにログイン中
-  : LED がオレンジ色に点滅—着信コールまたは復帰コール
-  : LED が赤色に点灯—リモート回線使用中（共有回線または回線ステータス）または [応答不可 (DND)] になっています。
-  : LED が赤色に点滅—リモート回線が保留中

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハード ボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

電話スクリーンの機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 4: Cisco IP 電話 7800 の画面



次の表で、Cisco IP 電話の画面コンポーネントについて説明します。

表 16: Cisco IP 電話の画面情報

1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。
2	電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。
3	スクリーン下部にはソフトキーラベルの行があります。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。


電話アイコン

電話画面に多くのアイコンが表示されます。このセクションでは、一般的なアイコンの意味を画像とともに説明します。



アイコンは、画面に応じて、カラーまたはグレースケールで表示されます。

線




アイコン	説明
	回線/ディレクトリ番号
	短縮ダイヤル
	インターコム
	保留中のコール

アイコン	説明
	アクティブ コール

共用回線

アイコン	説明
	共有回線上の着信コール。
	別のユーザによってアクティブになっている共有回線

Recents

アイコン	説明
	着信コール
	オンプレミスのファームウェア
	通話の受け損ない

電話スクリーンのクリーニング

手順

電話スクリーンが汚れたら、乾いた柔らかい布で拭いてください。

注意 液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

における電話のコールと回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線 およびコール という用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。回線の数、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。電話機の設定に応じて、最大 16 回線を使用できます。

- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、電話機は1つの回線につき4つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定され、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

電力要件

Cisco IP 電話 7800 シリーズでは、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社製アダプタ (PSC18U-480)、定格：48 VDC 0.38 A
- Delta 社製アダプタ (EADP-18VB B)、定格：48 VDC 0.375 A

電話ファームウェアとアップグレード

電話機には、あらかじめファームウェアがインストールされています。これは、通話制御システムに固有のファームウェアです。

また、お客様の電話機のファームウェアを管理者がアップグレードする場合があります。新しいファームウェアを使用するためには電話機のリセットが必要になるため、このアップグレードは電話機を使用していないときに行われます。

電話機のアップグレードの延期

新しいファームウェアが利用可能になると、電話機に [アップグレード準備完了 (Ready to upgrade)] ウィンドウが表示され、15秒のタイマーでカウントダウンが始まります。何も操作しなければ、アップグレードが続行されます。

ファームウェアのアップグレードは、1時間ずつ11回まで延期できます。アップグレードは、電話の発信または受信があった場合にも延期されます。


手順

電話機のアップグレードを延期するには、[遅延 (Delay)] を選択します。

電話ファームウェアのアップグレードの進行状況の表示

電話ファームウェアのアップグレード中に、アップグレードの進行状況を表示できます。

手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ2 [電話の情報 (Phone information)] > [詳細の表示 (Show detail)] の順に選択します。

ステップ3 [終了 (Exit)] を押します。

省電力

管理者は、次のオプションを使用してユーザの電話機の画面で使用する電力量を減らすことができます。

- 省電力 (Power Save) : 電話機が一定時間非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。
- バックライトを管理することができます。
- 省電力プラス (Power Save Plus) : 勤務スケジュールに基づいて設定された時間で、電話スクリーンのオン/オフが切り替わります。勤務時間や勤務日に変更になった場合は、電話機を再設定するよう管理者に依頼してください。

たとえば、管理者は、電話機の画面表示が消える 10 分前にアラートを発行するように設定できます。電話機がすぐにオフになることが通知され、この通知は次の間隔で送信されます。

- 電源オフの 10 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 7 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 4 分前に 4 回の呼出音
- 電源オフの 30 秒前に 15 回の呼出音

電話機がアクティブな場合は、電源シャットダウンの通知は電話機が非アクティブになってから設定時間が過ぎた後に実行されます。

Cisco IP 電話 7811 は省電力および Power Save Plus をサポートしていません。

関連トピック

[電話画面のバックライトの調整](#) (70 ページ)

電話機をオンにする

省電力のために電話機がオフになると、電話スクリーンが空白になり、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押すと、電話機が再度オンになります。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコ Web サイト (<https://www.cisco.com>) には、電話機およびコール制御システムについての詳細情報が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザー ガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-licensing-information-listing.html>

アクセシビリティ機能

Cisco IP 電話は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-technical-reference-list.html>を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、次のシスコ ウェブ サイトにも記載されています。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります。


- 電話機がコール制御システムと通信できない。
- コール制御システムの通信上の問題、または内部的な問題。
- 電話機の内部的な問題。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

における電話機に関する情報の取得

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [電話の情報 (Phone information)] を選択します
 - ステップ 3** (任意) [詳細の表示 (Show detail)] を押すと、アクティブなロード情報が表示されます。
 - ステップ 4** [終了 (Exit)] を押します。
-

通話品質の問題を報告する

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、原因コードを選択します。


手順

-
- ステップ 1** [品質のレポート (Report quality)] を押します。
 - ステップ 2** スクロールして発生した問題に最も近い項目を選択します。
 - ステップ 3** [選択 (Select)] ソフトキーを押して、情報をシステム管理者に送信します。
-

での電話機のすべての問題を報告する

Cisco Collaboration Problem Report Tool (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告できます。PRT アップロードが失敗したというメッセージが表示された場合、問題レポートが電話機に保存されるため、管理者に連絡する必要があります。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [電話の情報 (Phone information)] > [レポート (Report)] を選択します。
- ステップ 3 [問題の発生日付 (Date of problem)] および [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した日時を入力します。
- ステップ 4 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
- ステップ 5 表示されたリストから説明を選択し、[送信 (Submit)] を押します。

電話機の接続の切断

電話機から電話ネットワークへの接続が切断されることがあります。接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、そのコールは継続します。ただし、通常の電話機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、すべての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、ソフトキーが正常に機能しないことがあります。

電話機がコール制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供されています。 <https://www.cisco.com/go/hwwarranty>







第 2 章

コール

- オーディオパスの選択 (27 ページ)
- コールの発信 (28 ページ)
- コールへの応答 (32 ページ)
- コールのミュート (37 ページ)
- コールの保留 (38 ページ)
- コールの転送 (41 ページ)
- 通話の転送 (42 ページ)
- 電話会議とミーティング (44 ページ)
- インターコム コール (46 ページ)
- 通話の監視と録音 (47 ページ)
- 優先コール (48 ページ)
- 複数の回線 (50 ページ)
- モバイルコネクトを使用した通話 (52 ページ)
- ボイスメール (54 ページ)



オーディオパスの選択

コールを発信または受信すると、音声パスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンいずれかで使用されている最後のデバイスに送られます。次のリストでは、各シナリオについて説明します。

- コールを発信または応答するときにハンドセットをピックアップすると、[ヘッドセット (Headset)]  または [スピーカフォン (Speakerphone)]  を選択するまで、すべてのコールがハンドセットにルーティングされます。
- コールを発信または応答するときに [ヘッドセット (Headset)]  を選択すると、ハンドセットをピックアップするか、または [スピーカフォン (Speakerphone)]  を選択するまで、すべてのコールがヘッドセットにルーティングされます。

管理者が電話機の音声パスとしてヘッドセットを設定した場合は、ハンドセットを取り外してヘッドセットを使用することができます。これは、ヘッドセットの利便性を優先する

ユーザに最適です。ただし、最初にコールを処理するときには、[ヘッドセット (Headset)] を選択する必要があります。

- コールを発信または応答するときに[ヘッドセット (Headset)]  を選択すると、ヘッドセットをピックアップするか、または[スピーカフォン (Speakerphone)]  を選択するまで、すべてのコールが[ヘッドセット (Headset)] にルーティングされます。

コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

この電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。

手順

番号を入力してヘッドセットを持ち上げます。

ホットライン電話で電話をかける

一部の職場には、緊急コールまたはホットラインコール用の電話機があります。これらの電話機は、受信機を持ち上げたときに自動的に指定された番号に発信し、エレベータ、ホテルのロビー、またはセキュリティブースでよく使用されます。ほとんどのホットライン電話では、電話番号をダイヤルできません。単一の電話番号に発信する専用の電話です。ただし、一部のホットライン電話機ではコールを発信できます。この機能が設定されている場合は、最大 15 秒のコールを発信できます。それ以外の場合、コールは自動的にホットライン番号に転送されます。

Procedure

-
- ステップ 1** 受話器を持ち上げ、呼び出し音が鳴るまで待ちます。
- ステップ 2** (オプション) 電話番号をダイヤルします。
-

スピーカフォンによるコールの発信

スピーカフォンは、ハンズフリーコールに使用します。同僚にも通話が聞こえることに注意してください。


手順

- ステップ1 キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ2 [スピーカーフォン (Speakerphone)]  を押します。

標準ヘッドセットを使用したコールの発信

ヘッドセットをハンズフリーコールに使うと、同僚の邪魔にならず、プライバシーも得られます。

手順

- ステップ1 ヘッドセットを差し込みます。
- ステップ2 キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ3 [ヘッドセット (Headset)]  を押します。

番号をリダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

手順

- ステップ1 (任意) 回線(line)を選択します。
- ステップ2 [リダイヤル (Redial)] を押します。

短縮ダイヤル

頻繁に通話する相手の番号をすばやくダイヤルするために、ボタンまたはコードを割り当てることができます。短縮ダイヤル機能を電話機で使用する前に、セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤルを設定してください。

電話機の設定に応じて、次のような機能がサポートされます。

- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから、すばやく電話番号をダイヤルできます。
- 短縮ダイヤルコード：コードから電話番号をダイヤルします（短縮ダイヤルと呼ばれることもあります）。

関連トピック


[セルフ ケア ポータル](#) (13 ページ)

[短縮ダイヤル番号](#) (14 ページ)

短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機の各モデルには、電話機の機能に使用可能な特定の回線数があります。各機能では、すべての回線が短縮ダイヤル番号に使用できるわけではないため、1つの回線を機能させる必要があります。一部の回線は他の機能に使用できます。使用可能な回線よりも多くの短縮ダイヤル番号を追加した場合、残りの短縮ダイヤル番号は電話機に表示されません。

たとえば、10の短縮ダイヤル番号を追加しても、電話機に7回線が使用可能な場合、電話機には7つの短縮ダイヤル番号のみが表示されます。


所有している電話機のモデルを確認するには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

Cisco IP 電話 7800 シリーズでは、ナビゲーション クラスタを使用して、すべての短縮ダイヤル番号を表示できます。クラスタの上下ボタンを使用してスクロールし、短縮ダイヤル番号を選択します。これには、電話機に表示されない短縮ダイヤル番号が含まれます。

始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

手順

短縮ダイヤル ボタン  を押します。

関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#) (13 ページ)

短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信

始める前に

セルフ ケア ポータルで短縮ダイヤル コードを設定します。

手順

[短縮ダイヤル (Speed Dial)] コードを入力し、[短縮ダイヤル (Speed Dial)] を押します。

関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#) (13 ページ)

ファストダイヤル ボタンを使用したコールの発信

始める前に

パーソナルディレクトリでファストダイヤル コードを設定する必要があります。

手順

- ステップ 1** [ファストダイヤル (Fast Dial)] を押します。
- ステップ 2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ 3** [個人ファストダイヤル] を選択します。
- ステップ 4** ファストダイヤル コードを選択して、[ダイヤル (Dial)] ソフトキーを押します。

関連トピック

[連絡先にファストダイヤル コードを割り当てる](#) (59 ページ)

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

- ステップ 1** アスタリスク (*) を 1 秒間以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。
- ステップ 2** 電話番号を入力します。
- ステップ 3** 最後のキーを押してから、[発信 (Call)] を押すか、10 秒待つと自動的に発信されます。

連絡先が対応可能な場合の通知の受信

コールを発信しても相手の回線がビジー状態の場合、または相手が応答しない場合、相手が通話可能になったときに特別な呼出音とメッセージで通知を受け取ることができます。

手順

- ステップ 1** 話中音または呼出音が聞こえているときに、[コールバック (Callback)] を押します。
- ステップ 2** 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。

- ステップ3** 相手が通話可能になったことを示す呼出音が流れ、メッセージが表示されたら、[発信 (Call)] を押して再びコールを発信します。

課金コードまたは承認コードを必要とするコール

電話番号をダイヤルした後に課金コードまたは承認コード（または両方のコード）を入力するよう、管理者が要求する場合があります。クライアント識別コードと呼ばれる課金コードは、アカウントリングや請求の目的で使用されます。強制承認コードと呼ばれる承認コードは、特定の電話番号へのアクセスを制御します。

課金コードが必要な場合、電話機に「クライアント識別コードを入力してください (Enter Client Matter Code)」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。

承認コードが必要な場合、電話機に「承認コードを入力してください (Enter Authorization Code)」というメッセージが表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。セキュリティ上の理由から、入力した番号の代わりに「*」が電話機に表示されます。

課金コードと承認コードの両方が必要な場合、まず承認コードを入力するよう求められます。次に、課金コードを入力するよう求められます。

関連トピック

[短縮ダイヤル番号](#) (14 ページ)

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中に電話機にロックアイコンが表示された場合は、通話が保護されています。電話機の設定によっては、コールを発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

コールへの応答

シスコの電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールへの応答

手順

呼出音が鳴ったら、点滅している回線ボタンを押して応答します。

コール待機への応答

アクティブコール中に別のコールがあると、ピープ音が1回鳴り、回線ボタンが点滅します。

Cisco IP 電話 7811 はコール待機をサポートしていません。

手順

ステップ 1 回線ボタンを押す。

ステップ 2 (任意) 複数のコール待機が存在する場合は、着信コールを1つ選択します。

コールの拒否

呼び出し中の着信コールは、ボイスメールシステム (設定されている場合) または設定済み電話番号に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者には話中音が再生されます。

手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- [拒否 (Decline)] を押します。
 - 複数の着信コールがある場合、該当の着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。
-

サイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可 (DND) 機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。

同僚の電話機に応答する（コール ピックアップ）

DND をオンにした場合は、その電話機のすべての回線が対象となります。ただし、DND がオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

マルチレベル優先順位およびプリエンブション（MLPP）が電話機に設定されている場合、DND がオンになっていても、プライオリティ コールは特殊な呼出音で電話を呼び出します。

手順

ステップ 1 [サイレント（Do not disturb）] を押すと、DND がオンになります。

ステップ 2 再び [サイレント（Do not disturb）] を押すと、DND がオフになります。

関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#)（13 ページ）

同僚の電話機に応答する（コール ピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも 1 つのコール ピックアップ グループにこのユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールに応答する（ピックアップ）

自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに応答することになります。

手順

ステップ 1 （任意） [回線ボタン（line button）] を押します。

ステップ 2 自分のピックアップ グループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ（PickUp）] を押します。

ステップ 3 コールが鳴ったら [応答（Answer）] を押してコールに接続します。

別のグループからのコールの応答（グループ ピックアップ）

グループ ピックアップを使用すれば、コール ピックアップ グループ以外の電話機でコールに応答することができます。グループピックアップ番号を使ってコールをピックアップすることも、鳴っている電話回線の番号を使用することもできます。

手順

ステップ1 （任意） [回線ボタン（line button）] を押します。

ステップ2 [グループピックアップ（Group PickUp）] を押します。

ステップ3 次のいずれか1つの処理を実行します。

- ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。
たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、**12345** を入力します。
- グループピックアップ番号を入力します。
- [短縮ダイヤル（Speed dials）] を押して、短縮ダイヤル番号を選択します。ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を上下に移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ステップ4 コールが鳴ったら [応答（Answer）] を押してコールに接続します。

関連するグループからのコールの応答（その他のピックアップ）

手順

ステップ1 （任意） [回線ボタン（line button）] を押す。

ステップ2 [ピックアップ（PickUp）] を押して、ピックアップグループ内または電話機に関連付けられたグループ内のコールに応答します。

ステップ3 コールが鳴ったら、[応答（Answer）] を押してコールに接続します。

ハントグループ内のコールに応答する

ハントグループにより、多数の着信通話がある組織は通話の負荷を分配できます。管理者はいくつかの電話番号を含むハントグループを設定します。ハントグループに対して管理者が指定したハントシーケンスに基づいて、呼出音が鳴ります。ハントグループのメンバーは、コールを受けるときにハントグループにサインインします。電話機でコールの着信音を鳴らさないようにするには、グループからサインアウトします。

ハントグループの設定方法に応じて、コールアラートに次の情報が表示されます。

- コールを受信する回線。
- 着信コールの電話番号。
- ハントグループ名またはパイロット番号。

始める前に

ハントグループコールを受信するには、ハントグループにサインインする必要があります。

手順

手元の電話機でハントグループのコールが鳴ったら、応答します。

ハントグループへのログインとハントグループからのログアウト

ハントグループからサインアウトして、ハントグループからのコールの受信を停止します。自分に直接発信されたコールは引き続き受信されます。

手順

ステップ 1 [ハントグループ (Hunt Group)] を押してログインします。

ステップ 2 [ハントグループ (Hunt Group)] をもう一度押してログアウトします。

ハントグループでの通話キューの表示

ハントグループキューのステータスを確認するには、キュー統計情報を使用できます。キューステータス表示には、次の情報が含まれます。

- ハントグループが使用する電話番号
- 各ハントグループのキューに入っている発信者数
- 最大待機時間

手順

ステップ 1 [キューのステータス (Queue Status)] を押します。

ステップ 2 統計情報を更新するには、[更新 (Update)] を押します。

ステップ 3 [終了 (Exit)] を押します。

コールに自動応答する

コールに自動応答するよう電話機がセットアップされている場合は、電話機が鳴ったときに何も操作をする必要はありません。着信音が一度鳴った後、スピーカーフォンを使って自動的にコールに接続されます。


ヘッドセットを使用してコールに応答する場合は、先にヘッドセットのセットアップを行ってください。

Cisco IP 電話 7811 はヘッドセットをサポートしていません。

スピーカーフォンでコールに自動応答していて、コールをヘッドセットに変更すると、次の着信コールはヘッドセットで自動応答します。ヘッドセットでコールに自動応答していて、コールをスピーカーフォンに変更すると、次の着信コールはスピーカーフォンで自動応答します。自動応答により、コールに確実に応答できます。以前のコールに使用した場所は変更されません。

手順

ステップ 1 ヘッドセットを電話機に取り付けます。

ステップ 2 [ヘッドセット (Headset)] ボタン  が点灯することを確認します。

ステップ 3 電話機が着信コールに自動応答したら、ヘッドセットを使用して相手と通話します。

ヘッドセットを使用しない場合は、ハンドセットを持ち上げて、ヘッドセットモードを終了します。

不審なコールのトレース

迷惑電話や嫌がらせ電話を受信した場合、迷惑呼 ID (MCID) を使用して管理者に通知することができます。コールについての情報を含むサイレント通知メッセージが電話機から管理者に送られます。


手順

[迷惑呼 ID (MCID)] を押します。

コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

手順

ステップ 1 [ミュート (Mute)]  を押します。


ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

コールを保留にする

アクティブコールを保留にし、その後再開可能になってから保留中のコールを再開できます。

手順

ステップ1 [保留 (Hold)]  ボタンを押します。

ステップ2 保留中の通話を再開するには、もう一度 [保留 (Hold)] を押します。

長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 1 回の呼出音 (一定間隔で繰り返す)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上の視覚的な通知

手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答 (Answer)] を押して、保留中のコールを復帰します。

アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブなコールと保留中のコールは、簡単に切り替えることができます。

手順

[切替 (Swap)] を押すと、保留中のコールに切り替わります。

Cisco IP 電話 7811 上でのアクティブ コールと保留中のコールの切り替え

Cisco IP 電話 7811 には [回線ボタン (line button)] はありません。保留中のコールとアクティブ コールがある場合は、[切り替え (Swap)] ソフトキーが表示されます。3 つ以上のコールがある場合は、[発信 (Calls)] ソフトキーが表示されます。

手順

[切り替え (Swap)] または [発信 (Calls)] を押します。

コール パーク

電話機を使用して、コールをパークすることができます。その後、自身の電話機または別の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）からそのコールを取得できます。

コールをパークする方法として、コールパークとダイレクトコールパークの2つがあります。電話機で使用可能なコールパークの種類は1つのみです。

パークされたコールは、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後で、かかってきた電話に出ることも、拒否することも、無視することもできます。別の電話機で取得を継続することもできます。

所定の時間内にコールに回答しなかった場合は、システム管理者が設定したように、ボイスメールまたは別の接続先にルーティングされます。

コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

ステップ1 [パーク (Park)]を押した後、電話を切ります。

ステップ2 (任意) パークされた番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。

コールパークを使用して保留中コールを取得する

コールパークは、次の2つの方法で設定できます。

- パークされたコールは、ユーザが受けることができる電話機に表示されます。
- コールを受けるには、ユーザは表示されている番号をダイヤルする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager の [コールパークに対して1つの専用回線 (Dedicate one line for Call Park)]フィールドを設定して、この機能を有効または無効にできます。デフォルトでは、この機能は有効です。

始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

手順

コールがパークされたときの番号を入力してコールを取得します。

処理されたダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークしたり、取得したりできます。処理されたダイレクトコールパークでは、ボタンを使用してアクティブコールをパークします。管理者は、ボタンを短縮ダイヤル回線として設定します。このタイプのダイレクトコールでは、回線ステータスインジケータを使用して回線のステータス (使用中またはアイドル状態) をモニタできます。

手順

アイドル回線ステータスインジケータを示す回線に対して [BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)]を押すと、処理されたダイレクトコールパークになります。

処理されたダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する


手順

[BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)] を押します。

手動ダイレクトコールパークを使用してコールを保留状態にする

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークしたり、取得したりできます。手動ダイレクトコールパークを使用すると、管理者が設定したダイレクトコールパーク番号にアクティブコールを転送できます。

手順

ステップ 1 [転送 (Transfer)]  を押します。

ステップ 2 必須: ダイレクトコールパーク番号を入力します。

ステップ 3 必須: もう一度 [転送 (Transfer)] を押して、コールをパークします。

手動ダイレクトコールパークを使用して保留中コールを取得する

専用のコールパーク番号にパークされたコールをピックアップできます。

始める前に

ダイレクトコールパーク番号およびパーク取得プレフィックスを知っておく必要があります。

手順

ステップ 1 パーク取得プレフィックスをダイヤルします。


ステップ 2 ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。

コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

回線が転送されている場合、その回線に [不在転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

手順

-
- ステップ 1** 転送する回線が非アクティブの場合は、[不在 (Fwd All)] を押します。
- ステップ 2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。

関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#) (13 ページ)

通話の転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。

Voice Mail へのコール転送



コールは、マネージャまたは同僚の Voice Mail に直接転送できます。これは、発信者がメッセージを残すときに、オフィス内の誰の手も煩わすことのない便利な方法です。

始める前に

内線番号の前に * プレフィックスが付いているとコールを直接 Voice Mail に転送するように、管理者は電話システムを設定する必要があります。

同僚の内線をご確認ください。

手順


-
- ステップ 1** [転送 (Transfer)]  を押します。
- ステップ 2** [*]の後に相手の内線番号をダイヤルします。
- ステップ 3** [転送 (Transfer)]  を押します。
-

別のユーザにコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、相手と個別に話をできます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前にコールを転送します。

また、コールから自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

手順

ステップ 1 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)]  を押します。

ステップ 2 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ 3 (任意) [短縮ダイヤル (Speed dials)] を押して、短縮ダイヤル番号を選択します。

ナビゲーションクラスタを使用して、短縮ダイヤルウィンドウ内を移動し、短縮ダイヤル番号を選択します。

ステップ 4 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。

ステップ 5 再度 [転送 (Transfer)] を押します。


転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

始める前に

転送する必要があるアクティブ コールを受けている状態にします。

手順

ステップ 1 [転送 (Transfer)]  を押します。

ステップ 2 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ 3 [切替 (Swap)] を押すと、保留中のコールに戻ります。

ステップ 4 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。

電話会議とミーティング


1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線を使用している場合は、2つの回線をまたいで2つのコールに参加できます。

会議コールに複数の参加者を追加する場合は、それぞれ数秒の間隔を空けて追加します。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

コールへの別のユーザの追加（7811）

手順


ステップ1 アクティブコールで、[会議（Conference）]  を押します。

ステップ2 次のいずれかの方法で、別のユーザをコールに追加します。

- [発信（Calls）] を押して、保留中のコールを選択し、[はい（Yes）] を押します。
 - 電話番号を入力して、[会議（Conference）] を押します。
-

コールへの別のユーザの追加（7821、7841、7861）

手順

ステップ1 アクティブコールで、[会議（Conference）]  を押します。

ステップ2 次のいずれかの方法で、別のユーザをコールに追加します。

- 保留中のコールを選択して、[はい（Yes）] を押します。
 - 電話番号を入力して、[会議（Conference）] を押します。
-

会議を確立する前にコール間を切り替える

通話相手を会議に追加する前に、その相手と会話することができます。また、その相手とのコールと会議コールとの間で切り替えることもできます。

手順

- ステップ1** 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。コールが接続されるまで待機します。
- ステップ2** 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。
-

会議参加者の表示と削除

会議を作成した場合、会議に参加した最新の 16 人の参加者に関する詳細を表示できます。また、参加者を削除することもできます。

手順

- ステップ1** 会議中に [詳細 (Details)] を押して、参加者のリストを表示します。
- ステップ2** (任意) いずれかの参加者を強調表示して [削除 (Remove)] を押すと、その参加者が会議から削除されます。
-

スケジュール済み会議コール (ミーティング)

スケジュールされた時間に電話会議を主催したり、会議に参加したりすることができます。

会議コールは主催者がダイヤルインするまでは開始しません。また、すべての参加者が電話を切ると会議が終了します。主催者が電話を切っても、会議は自動的に終了しません。

ミーティング会議の開催

始める前に

管理者からミーティング電話番号を入手し、会議参加者にその番号を配布します。

手順

- ステップ1** ハンドセットを上げてダイヤル トーンを聞き、[ミーティング (Meet Me)] を押します。
- ステップ2** ミーティング電話番号をダイヤルします。
-

ミートミー会議への参加

会議の主催者がダイヤルインするまでは、ミートミー会議に参加できません。ビジー音が聞こえる場合は、主催者がまだ会議にダイヤルインしていません。コールを終了して、再び試行してください。

手順

会議の開催者から提供されたミートミー電話番号をダイヤルします。

インターコム コール

インターコム回線を使用して、一方向のコールを発着信できます。



(注) Cisco IP 電話 7811 はインターコムをサポートしていません。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパー モード）になって自動応答し、受信者のスピーカーフォン、ヘッドセット、またはハンドセット（このいずれかのデバイスを使用中の場合）からメッセージがブロードキャストされます。

インターコム コールを受信した後、受信者は双方向オーディオ（接続モード）を開始して会話を続けることができます。

インターコム コールの発信

インターコム コールを発信した場合、受信者がインターコム コールを受け入れるまでは、電話機がウィスパー モードになります。ウィスパー モードでは、こちらの声が相手に聞こえますが、相手の声はこちらに聞こえません。アクティブコールがある場合、そのコールは保留されます。

手順

-
- ステップ1 [インターコム (Intercom)] を押します。
 - ステップ2 (任意) インターコム コードを入力します。
 - ステップ3 インターコムのアラート トーンが聞こえたら、話し始めます。
 - ステップ4 コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。
-

インターコム コールへの応答

インターコム コールに応答して、相手と会話することができます。

始める前に

電話スクリーンにメッセージが表示され、音声アラートが聞こえます。電話機は、インターコム コールにウィスパー モードで応答します。

手順

-
- ステップ 1** [インターコム (Intercom)] を押して接続モードに切り替えます。[接続モード (connected mode)] では、インターコム発信者と会話ができます。
- ステップ 2** コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。
-

通話の監視と録音

コールを監視し、録音することができます。ただし、回線には発信者、監察者、着信者の少なくとも 3 人が必要です。

監察者はコールに応答し、会議コールを開始し、会話を監視および録音します。


監察者は次のタスクを実行します。

- コールを録音します。
- 最初の参加者だけで会議します。他の参加者は必要に応じて参加者を追加します。
- コールを終了します。

監察者が電話を切ると、会議は終了します。

監視されたコールの設定

手順

-
- ステップ 1** 着信コールに応答します。
- コールの監視および録音が必要であるとシステムが判断した場合、[録音 (Record)] が表示されます。
- ステップ 2** [会議 (Conference)] ボタン  を押して、会議コールを開始します。
- ステップ 3** スーパーバイザの電話番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

ステップ 4 スーパーバイザが応答したら、[会議 (Conference)] を押します。

ステップ 5 コールを終了するには、[通話終了 (End Call)] を押します。

通話の録音

コールを録音することができます。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

手順

録音を開始または停止するには、[録音 (Record)] を押します。

優先コール

業務中に、電話機を使って緊急または重大な要件を扱う必要が生じることがあります。特定のコールを「非常に重要」として識別し、通常のコールよりも優先度を高くすることができます。優先度の範囲はレベル 1 (低) ~レベル 5 (高) です。この優先度システムをマルチレベル優先順位およびプリエンプション (MLPP) と呼びます。

管理者は、使用可能な優先度をセットアップして、特別なサインイン情報が必要かどうかを決定します。

優先度の高いコールの呼出音が電話機で鳴ると、優先度レベルが電話画面に表示され、そのコールがコールリストの一番上に表示されます。通話中に優先順位が高いコールが電話機に着信した場合、優先順位が高いコールが現在のコールに取って代わることを示す特殊なプリエンプション呼出音が聞こえます。現在のコールを終了して、優先順位が高いコールに応答してください。






応答不可 (DND) をオンにしている場合でも、プライオリティ コールは特別な呼出音で電話機を鳴らします。

優先順位が高いコールで通話している間は、次の操作を行ってもコールの優先順位は変更されません。

- コールを保留にする
- コールを転送する
- コールを 3 者会議に追加する
- コール ピックアップを使用して応答する

次の表では、マルチレベル優先順位およびプリエンプションプライオリティのアイコンと対応するレベルについて説明します。

表 17: マルチレベル優先順位およびプリエンブションの優先度レベル

MLPP アイコン	優先度
	レベル 1: プライオリティ コール
	レベル 2: 中程度のプライオリティの (即時) コール
	レベル 3: プライオリティの高い (フラッシュ) コール
	レベル 4: フラッシュ オーバーライド
	レベル 5: エクゼクティブ オーバーライド

プライオリティ コールを発信する

プライオリティ コールを発信するには、特殊な資格情報を使ってサインインする必要が生じることがあります。これらの資格情報を入力する機会は3回あり、正しく入力されたかどうか通知されます。

手順

-
- ステップ 1 ハンドセットを取り上げます。
 - ステップ 2 [優先レベル (PrecLevel)] を押します。
 - ステップ 3 コールの優先度レベルを選択します。
 - ステップ 4 (任意) 認証画面にクレデンシャルを入力します。
 - ステップ 5 接続先の番号を入力します。
優先度レベル アイコンが電話機スクリーンに表示され、優先リングバックトーンが聞こえます。
-

プライオリティ コールに応答する

通常よりも速い特殊な呼出音が聞こえる場合は、プライオリティ コールを受信しています。

手順

優先度の高いコールの特殊な呼出音が聞こえたら、オレンジ色に点滅しているセッションボタンを押してください。

別のコールで通話している間にプライオリティ コールに応答する

コールに割り込む連続トーンが流れたら、自分または同僚がプライオリティ コールを受信しています。すぐに電話を切って、より優先度の高いコールが目的の受話者につながるようにしてください。

手順

受話器を置きます。
それまでのコールが終了し、優先度の高いコールの着信音が適切な電話機で鳴ります。

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

プライマリ回線でのすべてのコールの表示

プライマリ回線上の現在のコールと不在着信のリストを表示することができます。

この機能は、複数の回線を使用しており、すべての回線上のすべてのコールを単一の画面で確認したい場合に使用します。特定の回線をフィルタリングすることもできます。

管理者がこの機能をセットアップします。

最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答 (Answer)] を押します。

電話機ですべてのコールを表示する

(すべての電話回線からの) すべてのアクティブコールのリストを、古いものから順番に表示できます。

すべてのコールのリストは、複数の回線がある場合、または他のユーザと回線を共有している場合に役立ちます。このリストにはすべてのコールが一緒に表示されます。

また、プライマリ回線でのアクティブ コールを表示することもでき、1つの画面にすべてのコールを表示させたい場合にはこれが便利です。

手順

プライマリ回線の [すべてのコール (All Calls)] またはセッション ボタンを押します。

単一の電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、重役補佐は重役への電話に対応して、重役につなぐ電話を選別する必要があります。

電話番号を共有する場合は、一般の回線と同様にその電話回線を使用できます。共有回線の以下の特性に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 誰か同僚がコールに回答した場合、手元の電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが緑色に点灯し、セッションボタンが緑色に点滅します。しかし同僚の回線ボタンは赤色に点灯し、セッションボタンは赤色に点滅します。

共有回線のコールに参加する

自分または同僚は、共有回線上のコールに参加できます。その場合は、管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

共有回線上のコールに参加を試みたときに、参加できないというメッセージが表示されたら、もう一度やり直してください。

自分が回線を共有するユーザのプライバシー機能が有効になっている場合、そのユーザの回線設定を参照したり、そのユーザのコールに自分を追加したりすることはできません。

手順

ステップ 1 共有回線の回線ボタンを押すか、回線を選択して [割り込み (Barge)] を押します。

共有回線上のコールに自分を追加するには、[コール (Calls)] を押す必要があります。

ステップ 2 (任意) 確認メッセージが表示されたら、[はい (Yes)] を押して自身をコールに追加します。

共有回線でのプライバシーの有効化

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すことができます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。複数の共有回線を使用していて、プライバシーが有効になっている場合は、他の通話者は該当する共有回線を一切確認できません。

回線を共有している電話でプライバシーが有効になっている場合は、通常どおり、共有回線を使用して通話を発信および受信できます。

この機能が有効な場合は、電話スクリーンに視覚的な通知が表示されます。

手順

ステップ 1 この機能を有効にするには、[プライバシー (Privacy)] を押します。

ステップ 2 この機能をオフにするには、[プライバシー (Privacy)] をもう一度押します。

モバイルコネクトを使用した通話

携帯電話を使用して、デスクの電話番号にかかってきたコールを処理することができます。このサービスをモバイルコネクトといいます。

セルフケアポータルで、携帯電話を追加の電話機としてデスクフォンに関連付けます。どのコールを携帯電話に送るかを制御できます。

追加の電話機を有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクフォンと追加の電話機がコールを同時に受信します。
- デスクフォンでコールに応答すると、追加の電話機の着信音が止まってコールが切断され、不在着信メッセージが表示されます。
- いずれか1つの追加の電話機でコールに応答すると、それ以外の追加の電話機とデスクフォンの着信音が止まってコールが切断されます。他の追加の電話機には不在着信メッセージが表示されます。
- 追加の電話機でコールに応答した後、その回線を共有するデスクフォンにコールを切り替えることができます。その場合、同じ回線を共有するデスクフォンには「リモートで使用 (Remote In Use)」というメッセージが表示されます。

関連トピック

[セルフケアポータル](#) (13 ページ)

モバイル コネクトの有効化

手順

-
- ステップ 1** [モビリティ] を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ 2** [選択] を押して、ステータスを変更します。
-

デスクフォンから携帯電話にコールを移動する

自分のデスクフォンから携帯電話にコールを移動することができます。そのコールは引き続きデスクフォンの回線に接続されたままになるため、他のコールのためにその回線を使用することはできません。コールが終了するまで、回線は使用中になります。

始める前に

デスクフォンでモバイル コネクトを有効にする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** [モビリティ (Mobility)] を押します。
 - ステップ 2** [選択 (Select)] を押すと、コールが携帯電話に送信されます。
 - ステップ 3** アクティブなコールに携帯電話で応答します。
-

携帯電話からデスクフォンにコールを移動する

携帯電話から自分のデスクフォンにコールを移動することができます。そのコールは引き続き携帯電話に接続されたままになります。

始める前に

デスクフォンでモバイル コネクトを有効にする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ 2** 5 ～ 10 秒以内にデスクフォンの回線を押すと、デスクフォンでコールが再開します。
-

携帯電話からデスクフォンにコールを転送する

携帯電話から自分のデスクフォンにコールを転送することができます。

始める前に

デスクフォンでモバイル コネクトを有効にする必要があります。

管理者からアクセス コードを入手します。

手順

-
- ステップ 1** 携帯電話で、ハンドオフ機能のアクセス コードを入力します。
 - ステップ 2** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ 3** デスクフォンで 10 秒以内に [応答 (Answer)] を押して、デスクフォンで会話を開始します。
-

ボイスメール

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ボイスメール システムにアクセスできるようにするには、管理者がボイスメールアカウントをセットアップし、さらに電話機をセットアップする必要があります。

電話機の [メッセージ (Messages)] ボタンは、ボイスメール システムへの短縮ダイヤルとして機能します。

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。ボイスメールシステムの外部電話番号については、管理者に問い合わせてください。



-
- (注) ボイスメールは電話機の機能ではないため、このドキュメントでは、ボイスメールの情報は限定的です。この機能は、会社が購入する、サーバとファームウェアを含む別個のコンポーネントです。ボイスメールのセットアップと使用の詳細については、『*User Guide for the Cisco Unity Connection Phone Interface* (Cisco Unity Connection 電話インターフェイス ユーザ ガイド)』 (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html>) を参照してください。
-

ボイスメール メッセージの表示

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセットのライト ストリップが赤色に点灯している。

- 不在着信とボイスメールメッセージの数が画面に表示されている。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。

また、電話回線を使用する際にハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンから断続トーンが聞こえます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

関連トピック

[セルフケアポータル](#) (13 ページ)

ボイスメールメッセージへのアクセス

現在のボイスメールメッセージを確認したり、古いメッセージを再度聞くことができます。

始める前に

ボイスメールシステムはそれぞれ異なるため、管理者または IT 部門に問い合わせて、会社で使用されているシステムを確認してください。シスコのほとんどのお客様は Cisco Unity Connection をボイスメールシステムに使用するため、このセクションはその製品を対象とします。ただし、会社が別の製品を使用している場合があります。

手順

ステップ 1 [メッセージ (Messages)]  を押します。

ステップ 2 音声プロンプトに従います。

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる場合があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用し、かつビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

ステップ 1 スクリーン上で [音声 (Audio)] ソフトキーを押します。

ステップ 2 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。



第 3 章

連絡先


- [社内ディレクトリ](#) (57 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#) (57 ページ)
- [Cisco Web Dialer](#) (61 ページ)

社内ディレクトリ

自分の電話機で同僚の番号を調べることで、簡単に同僚に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します。
 - ステップ 3 検索条件を選択します。
 - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 5 連絡先を選択し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
-

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。独自の連絡先をパーソナルディレクトリに追加できます。頻繁に電話をかける相手の特別な短縮ダイヤルコードを追加できます。

パーソナルディレクトリは、電話機またはセルフケアポータルからセットアップできます。電話機を使用して、短縮ダイヤルコードをディレクトリ エントリに割り当てます。

関連トピック


[セルフ ケア ポータル](#) (13 ページ)

パーソナルディレクトリのサインインおよびサインアウト

始める前に


パーソナルディレクトリにサインインする前に、ユーザ ID と PIN (暗証番号) が必要です。これらの情報が不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ (Personal directory)] を選択します。
 - ステップ 3 ユーザ ID と PIN を入力して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 4 サインアウトするには、[ログアウト (Log out)] を選択し、[選択 (Select)] を押してから [OK] を押します。
-

パーソナルディレクトリに新しい連絡先を追加する

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ 2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ 3 [個人用アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択して、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 4 [新規 (New)] を押します。
 - ステップ 5 名、姓、およびオプションでニックネームを入力します。
 - ステップ 6 [電話 (Phones)] を押して、電話番号と必要なアクセスコードを入力してから、[送信 (Submit)] を押します。
-

パーソナルディレクトリの連絡先の検索


手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。

- ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
- ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。
- ステップ4 検索条件を選択します。
- ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。

パーソナル ディレクトリの連絡先に発信する


手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
- ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
- ステップ3 [パーソナルディレクトリ (Personal directory)] を選択し、エントリを検索します。
- ステップ4 ダイアルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
- ステップ5 目的のファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル (Dial)] を押します。

連絡先にファストダイヤルコードを割り当てる


ファストダイヤルコードを使用すると、簡単に連絡先にコールを発信できます。

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 パーソナル ディレクトリにサインインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択します。
 - ステップ4 検索条件を選択します。
 - ステップ5 検索条件の情報を入力して [送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ6 連絡先を選択します。
 - ステップ7 [ファスト (FastDial)] を押します。
 - ステップ8 番号を選択し、[選択 (Select)] を押します。
 - ステップ9 割り当てられていないファストダイヤルインデックスまでスクロールし、[送信 (Submit)] を押します。
-


ファストダイヤルコードを使用した連絡先への発信

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。
 - ステップ4 目的のファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル (Dial)] を押します。
-


パーソナルディレクトリの連絡先を編集する

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ3 [個人用アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)] の順に押します。
 - ステップ5 エントリの情報を変更します。
 - ステップ6 [電話 (Phones)] を押して、電話番号を変更します。
 - ステップ7 [更新 (Update)] を押します。
-


パーソナルディレクトリから連絡先を削除する

手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 [選択 (Select)]、[編集 (Edit)]、[削除 (Delete)] の順に押します。
 - ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ1 [連絡先 (Contacts)]  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにサインインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
 - ステップ4 必要なコードを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
 - ステップ5 インデックスを選択して、[削除 (Remove)] を押します。
-

Cisco Web Dialer

Cisco Web Dialer、Web ブラウザおよび Cisco IP 電話を使用して、Web アプリケーションやデスクトップアプリケーションから電話を発信できます。Web ブラウザを使って Web サイトまたは社内ディレクトリに移動し、ハイパーリンクの付いた電話番号をクリックするとコールが開始します。

コールを発信するにはユーザ ID とパスワードが必要です。これらの情報は管理者から与えられます。初めて使用するユーザは、通話開始前に個人設定を行う必要があります。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html> で「Cisco Web Dialer」に関するドキュメントを参照してください。



第 4 章

通話履歴

- [通話履歴リスト \(63 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を表示する \(63 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴に戻る \(64 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を消去する \(64 ページ\)](#)
- [コールレコードの削除 \(65 ページ\)](#)

通話履歴リスト

[最近の発着信履歴 (Recents)] リストで最近の 150 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。

[最近の発着信履歴 (Recents)] リストが最大サイズに到達すると、リスト内の最も古いエントリが次の新しいエントリによって上書きされます。

[最近の発着信履歴 (Recents)] リストのコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。


ハントグループを使用する場合は、次の点に注意してください。

- お使いの電話機がブロードキャストハントグループの一部である場合、ハントグループの他のメンバーがピックアップしたコールは、コール履歴に着信と表示されます。

最近の通話履歴を表示する

最近の発信者を確認します。

手順

ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。


電話機がアイドル状態になっている場合は、ナビゲーションクラスターを上を押して、最近の通話リストを表示することもできます。

ステップ 3 回線が複数存在する場合は、表示する回線を選択します。

最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールすることができます。


手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [通話履歴 (Recent)] を選択します。
 - ステップ 3** (任意) 必要な回線を選択します。
 - ステップ 4** ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 5** (任意) 番号を編集するには、[ダイヤルの編集 (EditDial)] を押します。
 - ステップ 6** [コール (Call)] を押します。
-

最近の通話履歴を消去する

電話機の [最近の発着信履歴 (Recents)] リストをクリアすることができます。


手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [通話履歴 (Recent)] を選択します。
 - ステップ 3** (任意) 必要な回線を選択します。
 - ステップ 4** [クリア (Clear)] を押します。
 - ステップ 5** [削除 (Delete)] を押します。
-

コールレコードの削除

[最近の発着信履歴 (Recents)] を編集して、1 件のコールを履歴から削除できます。[通話履歴 (Recents)] には 150 コールしか保持できないため、こうすることで重要な連絡先情報を保持できます。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
 - ステップ 3 (任意) 必要な回線を選択します。
 - ステップ 4 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。
 - ステップ 5 [削除 (Delete)] を押します。
 - ステップ 6 確認のため、再び [削除 (Delete)] を押します。
-



第 5 章

アプリケーション

- [使用できるアプリケーション \(67 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションの表示 \(67 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションの切り替え \(68 ページ\)](#)
- [アクティブ アプリケーションの終了 \(68 ページ\)](#)


使用できるアプリケーション

デフォルトでは、シスコの電話機にこれらのアプリケーションは含まれていません。天気、株式情報、社内ニュース、行うべき作業のリストなどの情報やサービスを提供するアプリケーションが企業によって追加される場合があります。

アクティブ アプリケーションの表示


すでに開いているアプリケーションを簡単に確認できます。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2** [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ 3** [終了 (Exit)] を押します。
-


アクティブアプリケーションの切り替え

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択して[切り替え (Switch to)]を押すと、選択したアプリケーションを開いて使用することができます。
 - ステップ4 [終了 (Exit)]を押します。
-

アクティブアプリケーションの終了

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択し、[閉じる (Close app)]を押してアプリケーションを閉じます。
 - ステップ4 [閉じる (Close)]を押してから、[終了 (Exit)]を押します。
-



第 6 章

[設定 (Settings)]

- [設定 (Settings)] メニュー (69 ページ)
- コール中に音量を調節する (71 ページ)
- 着信音量の調節 (71 ページ)
- 電話機の表示言語 (71 ページ)


[設定 (Settings)] メニュー

電話機での[設定 (Settings)]メニューからいくつかの属性と機能を管理できます。

呼出音の変更


電話機の着信コールの音声を変更できます。

手順


- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Settings)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
 - ステップ 3 回線を選択します。
 - ステップ 4 呼出音のリストをスクロールし、[再生 (Play)] を押してサンプルを聞きます。
 - ステップ 5 [設定 (Set)] を押して、呼出音を使用します。
-

コントラストの調整

電話スクリーンのコントラストを変更して、スクリーンを見やすくできます。

所有している電話機のモデルを確認するには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。



手順

-
- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings)] > [コントラスト (Contrast)] を選択します。
 - ステップ3 [コントラスト (Contrast)] の順に選択します。
 - ステップ4 1 ~ 10 の範囲の間の数値を入力します。
 - ステップ5 コントラストを設定するには、[保存 (Save)] を押します。
-

電話画面のバックライトの調整

バックライトを調整して、電話スクリーンを読みやすくできます。
バックライトは、Cisco IP 電話 7811 でサポートされていません。

手順


-
- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Preferences)] > [バックライト (Backlight)] を選択します。
 - ステップ3 [オン (On)] を押してバックライトをオンにするか、[オフ (Off)] を押してバックライトをオフにします。
 - ステップ4  を押して終了します。
-

電力節約モードのキー LED の選択をオフにする

電力節約モードでは、**選択 (Select)** ボタンの LED をオフにすることができます。これにより、ワークプレイスでの視覚的な注意散漫を低減させることができます。

[**選択 (Select)**] ボタンは、電話機のナビゲーションクラスターの中央にあります。**選択 (Select)** ボタンの LED が、電力節約モードでは、デフォルトでオンになっています。


手順

-
- ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Settings) > 電力節約 (Power save)] インジケーターを選択します。
 - ステップ3 オフを押して LED をオフにします。
 - ステップ4 [警告 (warning)] ウィンドウで、[OK] を押します。
-

コール中に音量を調節する

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンの音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、相手の声を聞きながら音量を調節できます。コール中に音量を調節した場合は、その時点で使用しているスピーカーだけに作用します。たとえば、ヘッドセットの使用時に音量を調整すると、ハンドセットの音量は変化しません。

手順



通話中に [音量 (Volume)] を上または下に押して音量を調節できます。

着信音量の調節

コールの着信音量が大きすぎるか小さすぎる場合は、音量を調節できます。着信音量の変更は、コール中の通話音量には影響しません。

手順



電話機の着信音が鳴っているときに [音量 (Volume)] を上または下に押すと、着信音量を調節できます。

電話機の表示言語

電話機は、多くの言語でテキストを表示できます。管理者が電話機で使用される言語を設定します。言語を変更する場合は、管理者に問い合わせてください。




第 7 章

アクセサリ

- サポートされるアクセサリ (73 ページ)
- 電話機に関連付けられたアクセサリの表示 (74 ページ)
- 電話機モデルの確認 (75 ページ)
- ヘッドセット (75 ページ)
- シリコンカバー (95 ページ)

サポートされるアクセサリ

電話機と一緒に、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカーフォンなど、異なる種類のアクセサリを使用できます。次の表に、特定の電話機で使用できるアクセサリを示します。

所有している電話機のモデルを確認するには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[電話の情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

電話機に機能を追加した場合は、一部の機能に回線ボタンが必要になります。ただし、電話機の回線ボタンのそれぞれは1つの役割 (1つの回線、1つの短縮ダイヤル、または1つの機能) しかサポートできません。電話機の回線ボタンがすでに使用されている場合は、電話機にそれ以外の機能が表示されません。



(注) Cisco ヘッドセット 560 シリーズマルチベースは、Power over Ethernet (PoE) を使用する Cisco IP 電話 7800 シリーズの電話機と互換性がありません。マルチベースを接続する場合は、外部電源をご使用ください。

次の表に、Cisco IP 電話 7800 シリーズでサポートされるアクセサリを示します。

表 18: Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861 でのアクセサリ サポート


アクセサリ	タイプ	7811	7821	7841	7861
Cisco 製アクセサリ					

アクセサリ	タイプ	7811	7821	7841	7861
壁面取り付けキット		サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
Cisco ヘッドセット 531 および Cisco ヘッドセット 532	アナログ	サポート対象外	サポートあり	サポート対象	サポート対象
Cisco ヘッドセット 561 および Cisco ヘッドセット 562	ベースステーションを使用したワイヤレス	サポート対象外	サポートあり	サポート対象	サポート対象
シリコンケース		サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
サードパーティ製アクセサリ					
ヘッドセット	アナログ	サポート対象外	サポートあり	サポート対象	サポート対象
ヘッドセット	アナログ ワイドバンド	サポート対象外	サポートあり	サポート対象	サポート対象
マイク	外部	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
スピーカー	外部	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外

電話機に関連付けられたアクセサリの表示

ヘッドセットジャックを使用して、電話機に外部ハードウェアを接続できます。アクセサリリストには、アナログヘッドセットがデフォルトで含まれています。このヘッドセットは、ワイドバンドを有効にするように設定できます。

手順


- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] を選択します。
- ステップ3 (任意) アクセサリを選択して、[詳細の表示 (Show detail)] を押します。

ステップ4 [終了 (Exit)]を押します。

電話機モデルの確認

各電話機は異なるアクセサリのセットをサポートしているため、電話機モデルを知っておくことが重要です。

手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)] を押します。

ステップ2 [電話情報 (Phone information)]を選択します。[モデル番号 (Model number)]フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

ヘッドセット

Cisco IP 電話 およびデバイスで使用できる Cisco およびサードパーティ製ヘッドセットが多数用意されています。Cisco ヘッドセットのその他の詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headsets/index.html>を参照してください。

ヘッドセットの安全性に関する重要な情報



高音圧：聴覚の障害を防ぐため、長時間大音量で聴き続けることは避けてください。

ヘッドセットを接続する際は、ヘッドセットのスピーカーの音量を下げてからヘッドセットを着用してください。ヘッドセットを外す前に音量を下げるようにすれば、再度ヘッドセットを接続する際に音量は最初から低い状態になります。

周りに注意してください。ヘッドセットを使用すると、特に緊急事態や騒音の多い環境で、外部の重要な音が遮断される可能性があります。運転中にヘッドセットを使用しないでください。人やペットが横切る可能性がある場所にヘッドセットまたはヘッドセットケーブルを放置しないでください。ヘッドセットまたはヘッドセットケーブルの近くに子供がいる場合は、常に目を離さないようにしてください。

Cisco ヘッドセット 500 シリーズ

次の Cisco ヘッドセットを使用できます。

- Cisco ヘッドセット 521: インライン USB コントローラに付属しているヘッドセット。

- Cisco ヘッドセットの 522: インライン USB コントローラに付属しているデュアル装備のヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 531: 標準ヘッドセットまたは USB アダプタ付きの USB ヘッドセットのいずれかとして使用できるヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 532: 標準のヘッドセットで、標準ヘッドセットまたは USB アダプタ付きの USB ヘッドセットのいずれかとして使用できる標準のヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 561: ベースに付属している単一のワイヤレスヘッドセット。
- Cisco ヘッドセット 562: ベースに付属しているデュアル装備のワイヤレスヘッドセット。

Cisco ヘッドセット 521 および 522

Cisco ヘッドセット 521 および 522 は、Cisco IP 電話とデバイスで使用するために開発された 2 つの有線ヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 521 は、拡張された磨耗と快適さのために 1 つのイヤープースを備えています。Cisco ヘッドセット 522 は、雑音の多い職場で使用できる 2 つのイヤープースを備えています。

両方のヘッドセットは、ラップトップおよびモバイルデバイスで使用するための 3.5-mm コネクタを備えています。インライン USB コントローラは、Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8885 および 8865NR でも使用できます。コントローラは、コールに応答したり、保留、復帰、ミュート、音量制御などの基本的な電話機の機能にアクセスするための簡単な方法です。

これらのヘッドセットを正しく機能させるには、電話機のファームウェアリリース 12.1 (1) 以降が必要です。

図 5: Cisco ヘッドセット 521



図 6: Cisco ヘッドセット 522

**Cisco ヘッドセット 531 および 532**

Cisco ヘッドセット 531 および 532 は、電話機の標準ヘッドセットとして使用できます。RJ コネクタを使用して、ヘッドセットポートにヘッドセットを接続します。

Cisco ヘッドセット USB アダプターは、Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8885 および 8865NR でも使用できます。アダプターは、Cisco ヘッドセット 531 および 532 を USB ヘッドセットに変換し、いくつかの追加機能を提供します。コールを処理したり、マイクをテストしたり、低音、高音、ゲイン、側音の設定をカスタマイズしたりするための便利な方法が用意されています。

ヘッドセットを正しく機能させるには、電話機のファームウェアリリース 12.1 (1) 以降が必要です。

図 7: Cisco ヘッドセット 531



図 8: Cisco ヘッドセット 532



Cisco ヘッドセット 561 および 562

Cisco ヘッドセット 561 および 562 は、今日のオフィスで使用するために開発された 2 つのワイヤレス ヘッドセットです。Cisco ヘッドセット 561 は、拡張された磨耗と快適さのために 1 つのイヤープiecesを備えています。Cisco ヘッドセット 562 は、雑音の多い職場で使用できる 2 つのイヤープiecesを備えています。

両方のヘッドセットには、ヘッドセットを充電するための標準ベースやマルチベース、または LED ディスプレイを使用してヘッドセットの電力レベルをモニタするためのものが付属しています。両方のベースには、着信コール、アクティブコール、ミュート時のコールなどのコールステータスも表示されます。ヘッドセットがファームウェアをアップグレードしている場合、LED にアップグレードの進行状況が表示されます。

ベースは、付属の Y 字のケーブルを使用して電話機に接続します。これは、電話機の AUX ポートとヘッドセット ポートに差し込むものです。

AC プラグは、電源コンセントにベースを接続するために用意されています。電源アダプタを差し込む前に、お使いの地域の電源クリップを取り付ける必要があります。

場合によっては、Cisco ヘッドセット 561 または 562 でトーンが再生されることがあります。これらのトーンの一部は、ボタンを押すなどのアクションを実行するときに警告します。他のトーンは、バッテリーの充電が必要な場合や、ベースステーションから遠すぎる場合など、ヘッドセットに注意が必要であることを警告します。

電話機のファームウェア リリース 12.5 (1) 以降および Cisco ヘッドセット 561 および 562 の defaultheadsetconfig.json ファイルが Cisco Unified Communications Manager 12.5 (1) 以前で正常に機能するようになりました。

図 9: Cisco ヘッドセット 561



図 10: Cisco ヘッドセット 562



Cisco ヘッドセット 500 シリーズのサポート

Cisco IP 電話 7811 は、ヘッドセットをサポートしていない Cisco IP 電話 7800 シリーズの唯一の電話機です。Cisco IP 電話 7821、7841 および 7861 は、RJ スタイルのコネクタを使用してヘッドセットまたはベースに接続します。

関連トピック

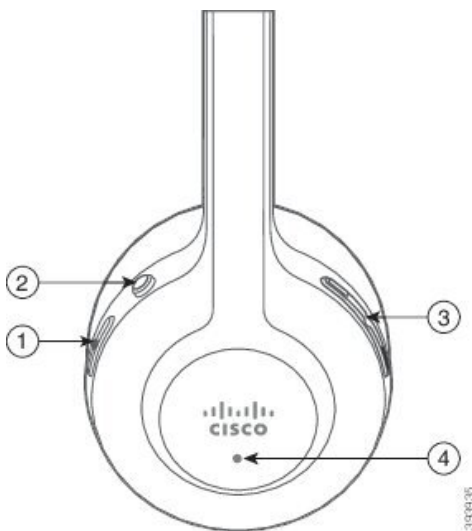
[ヘッドセットの電話機への接続](#) (88 ページ)

[電話でのヘッドセットの設定](#) (90 ページ)

Cisco ヘッドセット 561 および 562 ボタンおよび LED


ヘッドセット ボタンは、基本コール機能に使用されます。

図 11: Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセット ボタン



次の表で、Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセット ボタンについて説明します。

表 19: Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセット ボタン

番号	名前	説明
1	電源と通話ボタン	<p>ヘッドセットのオン/オフの切り替えに使用します。</p> <p>4秒間押したままにして、ヘッドセットの電源をオン/オフにします。</p> <p>着信コールとアクティブコールの管理は、1つのコールまたは複数のコールがあるかどうかによって依存します。</p> <p>1回のコール:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1回押して着信コールに応答します。 • アクティブコールを保留にするには、1回押します。もう一度押して、保留中のコールを取得します。 • 着信コールを拒否するには、二度押します。 • アクティブコールを終了するには、押し続けます。 <p>複数のコール:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1回押すとアクティブなコールが保留され、2回目の着信コールに応答します。 • アクティブコールを保留にするには、1回押します。2秒間押したままにして現在のコールを終了し、もう一度押して保留中のコールを再開します。 • 2秒間押したままにすると、アクティブコールが終了し、別の着信コールに応答します。 • 2回押して、現在のコールを維持し、2回目の着信コールを拒否します。
2	ミュート ボタン	<p>マイクフォンのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットのミュートが有効になっている場合は、電話機のミュート  が点灯します。</p>
3	[音量ボタン (Volume button)]	<p>ヘッドセットの音量を調整します。</p>

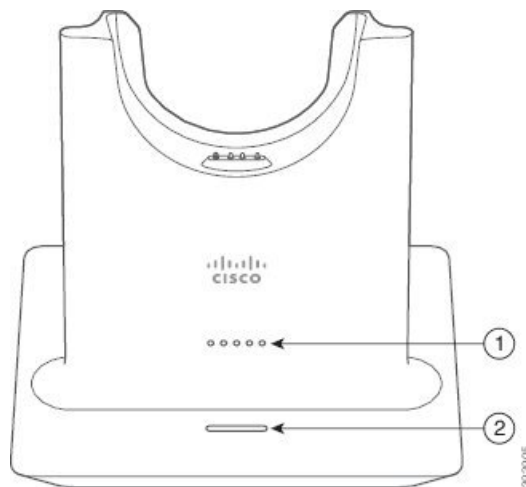
番号	名前	説明
4	LED	ヘッドセットのステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 赤の高速点滅: 着信コール。 • 赤色に点灯: アクティブコール。 • 白色の点滅: ファームウェアのアップグレードが進行中です。

Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース

Cisco ヘッドセット 561 および 562 には、ヘッドセットを充電するための標準ベースが付属しています。基本の LED ディスプレイには、現在のバッテリー レベルとコール状態が表示されます。ヘッドセットのコール制御ボタンに加えて、ベースのヘッドセットを持ち上げたり、設定したりするときにコールに応答して終了することもできます。

基本とヘッドセット間の接続は、デジタル Enhanced コードレス通信 (DECT) を使用して行われます。

図 12: Cisco 561 および 562 ヘッドセットの標準ベースでの LED の表示



次の表では、Cisco 561 および 562 ヘッドセットの標準ベースについて説明します。

表 20: Cisco ヘッドセット 561 と 562 の標準ベース

番号	名前	説明
1	バッテリーのステータス LED	ヘッドセットのバッテリー充電を示します。

番号	名前	説明
2	コール ステータス LED	<p>コール状態についてアラートを出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「緑の点滅」：コール着信。 • アクティブ コール: 緑色に点灯します。 • ミュートされたコール: 赤色に点灯します。

Cisco ヘッドセット 561 と 562(マルチベース付属)

マルチベースは、Bluetooth、USB コネクタ、または Y 字ケーブルを介して最大 3 つのコールソースに接続できます。マルチベースは最大 4 つの Bluetooth デバイスを保存できます。マルチベースのボタンを使用して、コールソースを切り替えることができます。コールに回答してコールを終了するには、ヘッドセットの [コール制御 (call control)] ボタンを使用します。ヘッドセットがベースになっている場合は、ヘッドセットをベースから取り外したときに自動的にコールに回答します。ヘッドセットをベースに戻してコールを終了することができます。

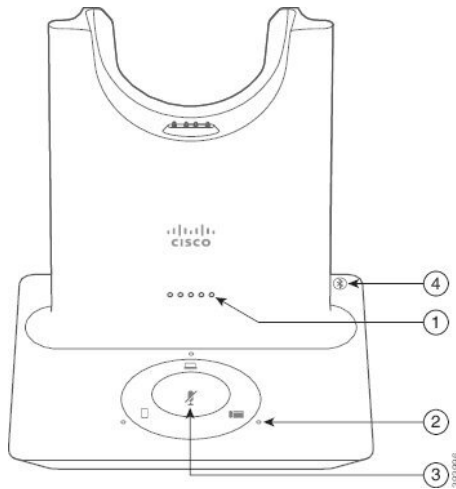
マルチベースには、次のコネクタ ケーブルが付属しています。

- USB から USB へのケーブル：USB 接続を備えた Cisco IP 電話の場合
- USB Y 字ケーブル：USB ポートを使用しない Cisco IP 電話の場合
- ミニ USB ケーブル: PC または Mac 用。
- ミニ USB から USB-C ケーブル：PC または Mac デバイスで個別に使用できます。



(注) Cisco ヘッドセット 560 マルチベースは、Power over Ethernet (PoE) を使用する Cisco IP 電話 7800 シリーズ電話機との互換性がありません。マルチベースを接続する場合は、外部電源をご使用ください。

図 13: マルチベース Led



次の表に、Cisco ヘッドセット 560 シリーズ マルチベース マルチベース LED を示します。

表 21: マルチベース Led

番号	名前	説明
1	バッテリーのステータス LED	<p>ヘッドセットのバッテリー充電と基本ステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドセットのバッテリー強度：LED が点滅し、バッテリーの充電に応じて点灯します ヘッドセットの更新が進行中：LED が左から右に順番に点滅します ヘッドセットとベースがペアリングされていない：すべての LED が点滅します。 省電力モード：中央の LED が点灯していることを示します <p>10分後にコール ソースの接続がない場合、ベースは省電力モードに入ります。</p>

番号	名前	説明
2	コール ステータス LED	各ソースのコール状態についてアラートを出します。 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブな送信元: 白色の点灯 • 選択したソースの着信コール: 緑色で点滅 • 選択されていないソースでの着信コール: 緑色に点滅 • アクティブ コール: 緑色に点灯 • 非アクティブな発信元へのコール: 緑色に明滅
3	ミュート ステータス LED	ヘッドセットがミュートされている場合にアラートを出します。
4	Bluetooth ステータス LED	Bluetooth のステータスについてアラートを出します。 <ul style="list-style-type: none"> • コール ソースとのペア: 白色の点灯 • ペアリング モード: 白で点滅 • コール ソースの検索: 白色で明滅 • Bluetooth が消灯: LED が消灯しています。

アクティブなソースを管理するには、ベースのソース管理ボタンを使用します。各ソースボタンは、マルチベースの特定の接続に対応しています。

ソースに接続している場合でも、LED が点灯しないことがあります。ソース LED は、ソースが選択されている場合、またはアクティブ コールがある場合にのみ点灯します。たとえば、Bluetooth を使用して、Cisco IP 電話、PC、携帯電話に正しく接続されている場合があります。ただし、それぞれのソース LED は、選択されている場合、アクティブ コールがある場合、または着信コールがある場合にのみ点灯します。ソースボタンを押して、ソースが正しく接続されているかどうかを確認します。接続されていない場合は、電源 LED が 3 回点滅します。


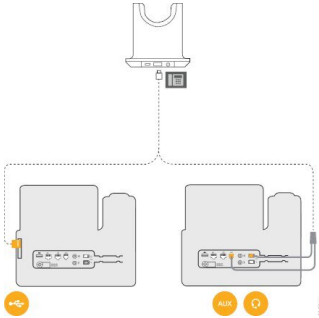

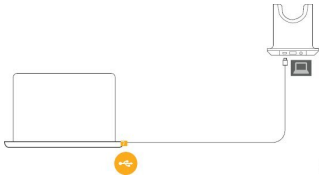
アクティブ コール ソース間で切り替えることができます。





(注) 別のコールソースに変更する前に、アクティブ コールを保留しておきます。別のコールソースに切り替えると、1つのコールソースのコールが自動的に保留になることはありません。

次の表に、マルチベース ソースのアイコンとそれに対応する接続を示します。

表 22: マルチベース ソース コンソール

出典	基本アイコン	接続
デスク フォン		 <p>USB から USB へのコードまたは Y 字ケーブル</p> <p>デスク フォンのアイコンは、マルチベースの背面にある中央の USB ポートに対応しています。これは、Cisco IP 電話に接続することを目的としています。互換性のあるコールデバイスでは正常に機能します。</p>
ラップトップ		 <p>マイクロ USB コード</p> <p>ラップトップのアイコンは、マルチベースの背面にあるマイクロ USB ポートに対応しています。マイクロ USB ポートは、ラップトップまたはデスクトップコンピュータとの接続用です。</p>

出典	基本アイコン	接続
Mobile		 <p>携帯電話のアイコンは、ベースの背面にある Bluetooth 接続に対応しています。アイコンが携帯電話の場合、ベースは互換性のある Bluetooth コールデバイスに接続されます。</p> <p>マルチベースは、最大 4 つの Bluetooth コールデバイスを保存し、記憶することができます。</p> <p>Bluetooth ソースを介して音楽を聞いている場合、ヘッドセットをベースに配置すると、音楽は一時停止します。</p>

サードパーティ製ヘッドセット

Cisco では、Cisco IP 電話 で使用するサードパーティ製ヘッドセットについて社内でテストを実施しています。しかし、ヘッドセットやハンドセットのベンダーの製品については動作の保証やサポートはしていません。ヘッドセットの製造元に問い合わせて、ご使用の Cisco 電話機で使用できるかどうかを確認してください。



(注) Cisco IP 電話 7811 はヘッドセットをサポートしていません。

ヘッドセットは、USB ポートまたは補助ポートを使用して電話機に接続します。ヘッドセットのモデルに応じて、ヘッドセットの側音の設定を含め、最適な音声エクスペリエンスのための電話機の音声設定を調整する必要があります。

サードパーティ製ヘッドセットがある場合、新しい側音設定を適用した後で1分間待つてから電話機を再起動すると、フラッシュに設定が格納されます。

ヘッドセットのマイクが検出する背景雑音の一部軽減されます。背景雑音をさらに軽減し、全体的な音声品質を向上させるには、ノイズ キャンセルヘッドセットを使用することができます。

サードパーティ製ヘッドセットを検討している場合、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) が遮蔽されたヘッドセットなどの高品質な外部デバイスの使用を推奨します。ヘッドセットの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。可聴ハム雑音などのノイズは、相手方だけに聞こえる場合も

あれば、Cisco IP 電話のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム音またはバズ音は、さまざまな外的な要因、たとえば、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなどによって引き起こされる場合があります。

場合によっては、ハム音は、ローカルパワーキューブやパワーインジェクタの使用によって、軽減または解消されることがあります。

Cisco IP 電話が展開される場所によって環境およびハードウェアが異なるため、すべての環境において最適な唯一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットの購入を決定して大規模な展開を実施する前に、使用を想定している環境でテストし、パフォーマンスを測定することを推奨します。

同時に使用できるヘッドセットは1台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。

推奨されるヘッドセットとその他のオーディオアクセサリのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.htmlを参照してください。

音質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコではどのサードパーティのヘッドセットのパフォーマンスも保証することはできません。ただし、主要なヘッドセット製造業者製のさまざまなヘッドセットは、Cisco IP 電話で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

シスコは、自社製品のサードパーティヘッドセットを推奨またはテストすることはできません。シスコ製品のサードパーティ製ヘッドセットサポートについては、製造元の Web サイトを参照してください。

シスコは、Cisco IP 電話を使用してシスコヘッドセットをテストします。シスコヘッドセットと Cisco IP 電話のサポート詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headsets/index.html>を参照してください。

有線ヘッドセット

有線ヘッドセットでは、[音量 (Volume)] ボタンおよび[ミュート (Mute)] ボタンを含むすべての Cisco IP 電話機能を使用できます。これらのボタンは、受話口の音量の調節と、ヘッドセットのマイクからの音声の消音に使用されます。

有線ヘッドセットを設置する場合は、ケーブルが電話機の溝に押し込まれていることを確認します。



注意

ケーブルが電話機の溝に押し込まれていないと、ケーブルが損傷する可能性があります。

ワイヤレスヘッドセット

電話機でほとんどのワイヤレスヘッドセットを使用できます。サポートされるワイヤレスヘッドセットの一覧については、次を参照してください。http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html

ヘッドセットの接続および機能の使用については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

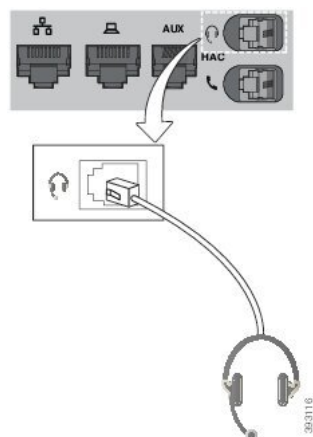
ヘッドセットの電話機への接続

有線ヘッドセット、アダプタ、またはベースの各タイプは、別のポートと別のタイプのコネクタとケーブルを使用して電話機に接続します。一般的なタイプには、RJ コネクタ、USB コネクタ、Y 字型ケーブルなどがあります。

標準ヘッドセットの接続

デスクフォンでは標準のヘッドセットを使用できます。標準のヘッドセットは、RJ タイプのコネクタで電話機の背面のヘッドセットジャックに差し込みます。

図 14: 標準的なヘッドセットの接続



注意 電話機のチャネルにケーブルを押し込むことに失敗すると、電話機内部のプリント回路基板が損傷する可能性があります。ケーブルチャネルにより、コネクタやプリント回路基板への負荷が軽減されます。

手順

ヘッドセットを電話機の背面にあるヘッドセットジャックに差し込みます。ケーブルをケーブルチャネルに差し込みます。

Y字ケーブルを使用した Cisco の標準ベースの接続

付属のY字のケーブルを使用して、標準ベースを電話機に接続できます。ただし、Y字型ケーブルには2つのRJ型コネクタがあります。1つは補助ポートまたはAUXポート用、もう1つはヘッドセットポート用です。AUXポートコネクタはヘッドセットポートコネクタよりも少し大きくなるため、2つのコネクタのサイズを区別できます。



注意 電話機のチャンネルにケーブルを押し込むことに失敗すると、電話機内部のプリント回路基板が損傷する可能性があります。ケーブルチャンネルにより、コネクタやプリント回路基板への負荷が軽減されます。


手順

- ステップ 1** 小型のコネクタを電話機の背面にあるヘッドセットジャックに差し込みます。ケーブルをケーブルチャンネルに差し込みます。
- ステップ 2** 大規模なケーブルをヘッドセットポートの横にあるAUXポートに差し込みます。

ヘッドセットの着信呼び出し音の設定の変更

電話機ファームウェア 14.0 以降の Cisco IP 電話で、ヘッドセットの着信音の動作を変更できます。設定は電話機に保存され、接続されている Cisco ヘッドセット 500 シリーズに適用されます。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2** [基本設定 (Preferences)] > [ヘッドセットの呼び出し音 (Headset ringer)] を選択します。
- ステップ 3** 呼び出し音の設定を選択します。

デフォルトでは、電話機は呼出音の設定に従って動作します。着信コールの受信時に常に電話の呼び出し音を聞こえるようにするには、[オン (On)] を選択します。[オフ (Off)] を選択すると、着信コールを受信していてもヘッドセットを通して呼び出し音は聞こえません。

- ステップ 4** [設定 (Set)] を選択して設定を適用します。

Cisco IP 電話でシスコ ヘッドセットのファームウェアをアップデートする

サポートされている Cisco IP 電話上でヘッドセットソフトウェアを更新できます。ヘッドセットのファームウェアアップグレード中に、電話機の画面に進行状況を表示できます。

手順

- ステップ1** ヘッドセットを Cisco IP 電話に接続します。
- ステップ2** ヘッドセットが自動的に更新されない場合は、電話機を再起動してください。電話機が再起動すると、ダウンロードされた最新バージョンのヘッドセットファイルがヘッドセットにアップロードされます。
-

電話でのヘッドセットの設定

ヘッドセットを接続したら、電話機で設定を行う必要がある場合があります。

電話機からの Cisco ヘッドセット設定のリセット

Cisco のヘッドセットをリセットして、カスタム設定を削除することができます。このアクションは、管理者によって設定された元の設定にヘッドセットを戻します。


この機能を機能させるには、電話機がファームウェア リリース 12.5 (1) SR3 以降を実行している必要があります。

始める前に

ヘッドセットを電話機に取り付けます。

- Cisco ヘッドセット 520 シリーズ: USB アダプタを使用した接続
- Cisco ヘッドセット 530 シリーズ: USB ケーブルを使用した接続
- Cisco ヘッドセット 560 シリーズ: USB または Y ケーブルを使用して標準ベースまたはマルチベースを接続します。

手順

- ステップ1** 電話機で、[アプリケーション (Applications) 


ステップ2 [アクセサリ > セットアップ] > [設定のリセット] を選択します。

ステップ3 警告ウィンドウで、[リセット (Reset)] を選択します。

ヘッドセット フィードバックの調整

ヘッドセットを使用するときには、自分の声がイヤホンから聞こえます。これをヘッドセット側音またはヘッドセットフィードバックといいます。電話機のヘッドセット側音のボリュームを制御できます。



手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications) - ステップ2 [設定 (Settings)]> [ヘッドセットの側音 (Headset sidetone)] の順に選択します。
- ステップ3 特定の設定を選択します。

ワイドバンド標準ヘッドセットのセットアップ

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオでは、ヘッドセットから聞こえる音声の質が向上します。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)] - ステップ2 [アクセサリ (Accessories)]> [アナログヘッドセット (Analog headset)]> [セットアップ (Setup)] を選択します。
- ステップ3 [オン (On)] または [オフ (Off)] を押してアナログヘッドセットのワイドバンドを有効または無効にします。
- ステップ4 [戻る (Return)] 


電話機での電子フックスイッチ制御の有効化

管理者が Cisco IP 電話で [管理者設定 (Admin settings)] を有効にしている場合は、Cisco ヘッドセット560シリーズベースに接続する電子フックスイッチ制御を有効または無効にすることができます。電子フックスイッチ制御はデフォルトで有効になっています。



(注) この機能は、Cisco IP 電話ファームウェア 12.7(1) 以降で利用できます。

手順

- ステップ1 電話機で、[アプリケーション (Applications)] - ステップ2 [管理設定 (Admin settings)]> [Aux ポート (Aux port)] に移動します。
- ステップ3 電子フックスイッチ制御を有効にするには、[eフックヘッドセットの接続 (Connect e-hook headset)] を選択します。

コール中のヘッドセットの切り替え

複数のヘッドセットを電話機に接続したときは、電話機の**ヘッドセット**キーを押して通話中にヘッドセットを切り替えることができます。電話機は複数のデバイスに接続されていますが、優先されるオーディオデバイスとして次の優先順位で特定のヘッドセットが選択されます。

- 電話機にアナログヘッドセットだけを接続している場合、アナログヘッドセットを優先オーディオデバイスにできます。

手順

ステップ1 コールの発信または応答の前に、[ヘッドセット (Headset)] を押します。

ステップ2 (任意) 発信する場合は、番号をダイヤルします。

Cisco ヘッドセットのトラブルシューティング

Cisco のヘッドセットに問題がある場合は、次の基本的なトラブルシューティング手順を実行してください。

- ヘッドセットを再起動します。
- すべてのコードが正しく接続され、正常に機能していることを確認してください。
- お使いのワイヤレスヘッドセットまたはデバイスに問題があるかどうかを判断するには、デバイスで別のヘッドセットをテストしてください。
- 電話機のファームウェアが最新のリリースであることを確認します。

ヘッドセットが登録されていることを確認する

手順

ヘッドセットが電話機に登録されているかどうかを確認します。

ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  ボタンを押します。

ステップ2 [アクセサリ (Accessories)] に移動します。[詳細の表示 (Show detail)] を選択します。

ヘッドセットで音が聞こえない

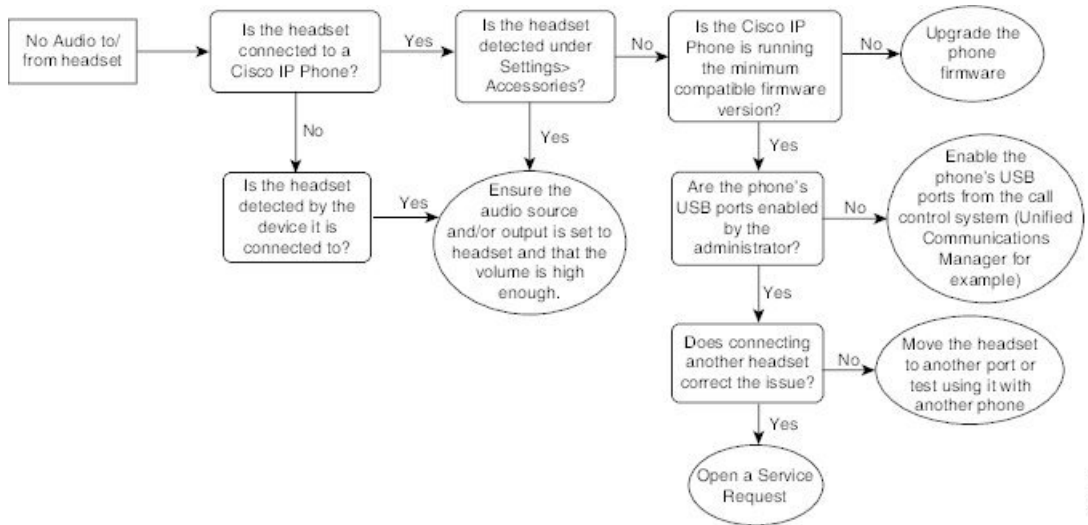
問題

ヘッドセットから音がほとんど、またはまったく聞こえません。

ソリューション

音量コントロールを押して音量レベルを調節し、ヘッドセットの音量レベルを確認します。問題が解決しない場合は、次の作業フローを使用して問題のトラブルシューティングを行ってください。

図 15: 音声がかえらない場合のワークフロー



28-39-07

低音質

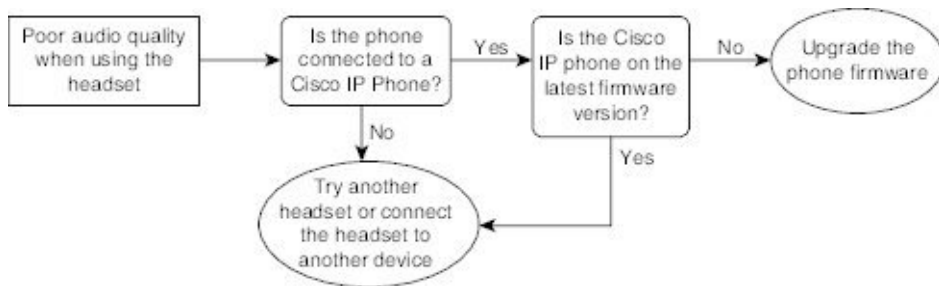
問題

ヘッドセットは機能していますが、音質は良くありません。

ソリューション

次のワークフローを使用して、問題のトラブルシューティングを行います。

図 16: 低音質



3-93-93-8

マイクが音を拾わない

問題

ヘッドセットを使用している時に、相手に自分の声が聞こえていません。

対処方法

- マイクがミュートになっていないことを確認します。ヘッドセットの[ミュート (mute)] ボタンを押して、マイクのミュートとミュート解除を行います。
- マイクの音量が下げられていることを確認してください。最適な音を得るには、ヘッドセットのマイクを、前面の1インチまたは2.5 cm 以上にしておきます。
- ヘッドセットがデバイスに正しく接続されていることを確認します。
- Cisco ヘッドセット560 シリーズでは、ヘッドセットがヘッドセットベースからあまり離れていないことを確認します。ヘッドセットの有効範囲は約100 フィートまたは30 m です。

ヘッドセットが充電されない

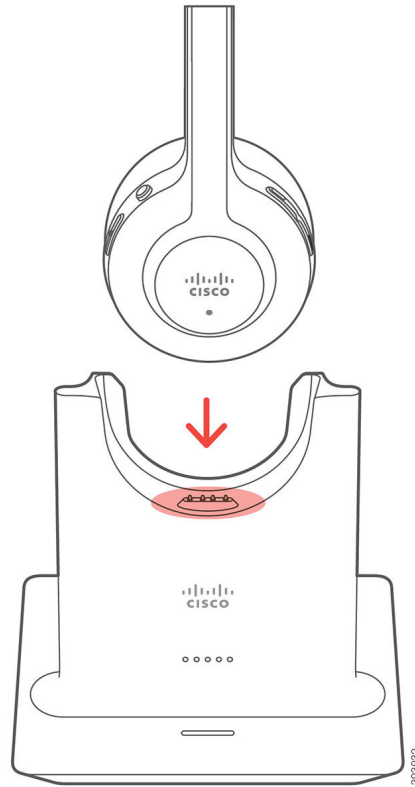
問題

Cisco ヘッドセット 561 および 562 が、ベースに配置されている場合に充電されません。

ソリューション

- ベースが信頼性の高い電源に接続されていることを確認します。
- ヘッドセットがベースに適切に装着されていることを確認します。ヘッドセットが適切に装着されている場合は、LED が白色で点灯します。充電すると、ベースのLED が左から右に順番に点灯します。ヘッドセットが完全に充電されると、5つのバッテリーインジケータ LED はすべて白色で点灯します。

図 17: Cisco ヘッドセット 561 および 562 ヘッドセットの配置



ヘッドセットバッテリーが充電されない

問題

ワイヤレスヘッドセットが完全に充電されません。

ソリューション

Cisco ヘッドセット 561 および 562 には、最大 8 時間の連続使用を対象とした料金があります。ヘッドセットバッテリーが損傷しているか、故障しているように思われる場合は、Cisco サポートにお問い合わせください。

シリコンカバー

Cisco IP 電話のシリコンカバーを使用することで、デスクフォンとハンドセットを保護することができます。

このケースには次の利点があります。

- 低刺激性

- さまざまな洗浄剤による摩耗に強い。



注 洗浄力の低い洗浄剤を使用することで、ケースの耐用年数と外観を長く保ちます。

- ハンドセットを落としたときの損傷の軽減。

部品番号およびその他の追加情報については、該当する電話機モデルのデータシートを参照してください。Cisco IP 電話 8800 シリーズのデータシートは、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/datasheet-listing.html>にあります。Cisco IP 電話 7800 シリーズのデータシートについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/datasheet-listing.html>を参照してください。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)] を押して、[電話情報 (Phone information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

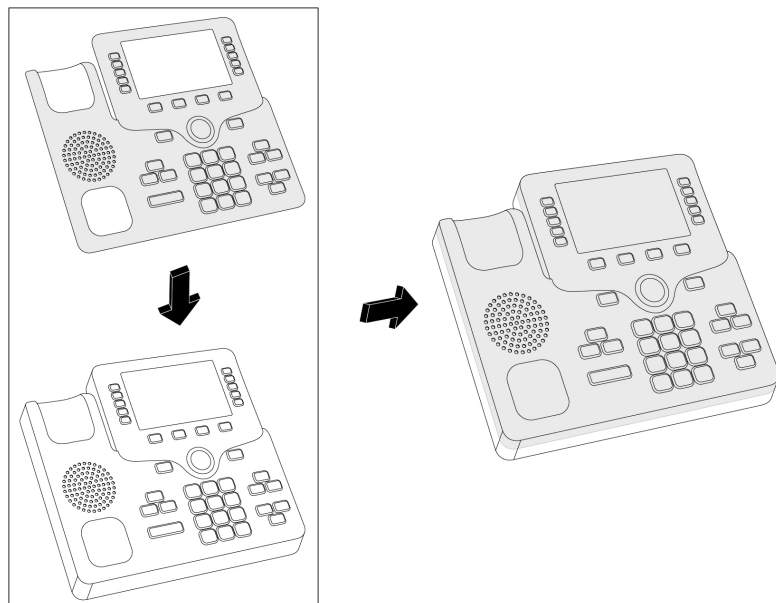
表 23: シリコンカバー

Cisco IP 電話	Cisco IP 電話のシリコンカバー	注意事項
Cisco IP 電話 7821	<ul style="list-style-type: none"> • 7821 デスクフォンシリーズ用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7821-COVER=) • 7821 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7821-COVER-BUN=) 	
Cisco IP 電話 7841	<ul style="list-style-type: none"> • 7841 デスクフォンシリーズ用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7841-COVER=) • 7841 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-7841-COVER-BUN=) 	

Cisco IP 電話	Cisco IP 電話のシリコンカバー	注意事項
Cisco IP 電話 8811、8841、8851、8851NR、8861 および 8861NR	<ul style="list-style-type: none"> • 88X1 デスクフォンシリーズ用のシリコンカバー 10 個入り (CP-88X1-COVER=) • 88X1 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-88X1-COVER-BUN=) 	(注) このシリコンカバーはキー拡張モジュールを保護するものではありません。
Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR	<ul style="list-style-type: none"> • 88X5 デスクフォンシリーズ用のシリコンカバー 10 個入り (CP-88X5-COVER=) • 88X5 デスクフォンシリーズおよびハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-88X5-COVER-BUN=) 	(注) このシリコンカバーはキー拡張モジュールを保護するものではありません。
Cisco IP 電話 ハンドセット	<ul style="list-style-type: none"> • デスクフォンハンドセット用のシリコンカバー 10 個入り (CP-HS-COVER=) 	

Cisco IP 電話シリコンカバーの取り付け

このシリコンカバーは、Cisco IP 電話の長時間使用を容易にし、ボタンと番号パッドを清潔に保ちます。



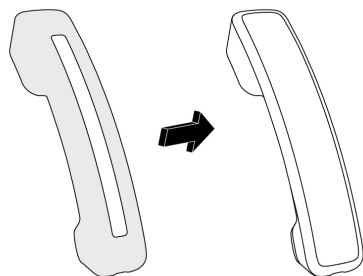
455568

手順

-
- ステップ 1 電話機を自分に向けて設置します。
 - ステップ 2 クレードルからハンドセットを取り外します。
 - ステップ 3 カバーの位置をハンドセットを左側にして電話機に配置してください。
 - ステップ 4 電話機の隅と側面でカバーを固定します。カバーは、あまり負荷のかからないように電話機にしっかりとめ込む必要があります。
 - ステップ 5 ハンドセットを受け台の上に戻します。
-

Cisco IP 電話ハンドセット カバーの取り付け

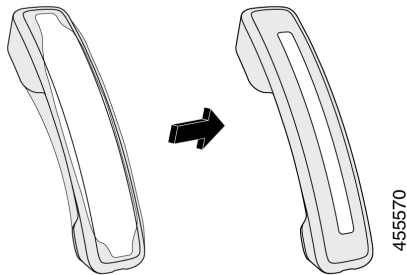
シリコンカバーは、ハンドセットを損傷から保護し、細菌の広がりを抑えるのに役立ちます。



455569

手順

- ステップ1 ハンドセットを電話機の受け台から取り外します。
- ステップ2 ハンドセットからケーブルを取り外します。
- ステップ3 イヤーカップがカバーの中に完全に入るまで、ハンドセットにシリコンカバーをスライドさせます。
- ステップ4 ハンドセットのもう一方の端にカバーを引っ張ります。



- ステップ5 カバーがハンドセットにぴったりとくっついていること、また、ケーブルポートが塞がれていないことを確認します。
- ステップ6 ハンドセットを電話機に再接続し、受け台に戻します。

シリコンカバーの清掃

汚れや手垢が気になる場合は、カバーの清掃を行ってください。定期的な清掃を行うことで、細菌や細菌の広がりを防ぐことができます。

手順

- ステップ1 シリコンカバーを外します。
- ステップ2 カバーを清掃します。
(注) 洗浄力の低い洗浄剤を使用することで、ケースの耐用年数と外観を長く保ちます。
- ステップ3 カバーをしっかりと乾かします。完全に乾くまで、ケースに電話機を戻さないでください。
- ステップ4 電話機にカバーを取り付けます。



第 8 章

製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスに関する情報 \(101 ページ\)](#)
- [適合宣言 \(103 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(106 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(106 ページ\)](#)

安全性とパフォーマンスに関する情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

外部デバイス

不要な無線周波数 (RF) 信号および可聴周波数 (AF) 信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。


シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意 欧州連合諸国では、EMC Directive (89/336/EC) に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

電話機に電源を供給する方法

次のいずれかの方法で電話機に給電できます。

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークで Power over Ethernet (PoE) がサポートされている場合は、電話機をネットワークに接続することができます。イーサネット ケーブルをイーサネット電話ポート  に差し込み、ネットワークに接続します。

ネットワークで PoE がサポートされているかどうか不明な場合は、管理者に問い合わせてください。

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

UL 警告

LAN、イーサネットケーブル、またはデバイスに接続されているその他のケーブルは、屋外に拡張することはできません。

EnergyStar



次の電話機には EnergyStar 認定があります。

- Cisco IP 電話 7811
- Cisco IP 電話 7841

上記のリストに記載されていない電話機モデルは、認定されていません。

製品ラベル

製品ラベルは、デバイスの底面に配置されています。

適合宣言

適合宣言（欧州連合）

CE マーキング

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。次の 2つの条件に従って動作するものとします。(1) このデバイスによって、干渉が発生することはない。(2) このデバイスは、望ましくないデバイスの動作を引き起こす可能性のある干渉

適合宣言（ニュージーランド）

も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

適合宣言（ニュージーランド）

接続許可（PTC）の一般警告

端末装置の任意の品目に対する Telepermit の付与は、Spark NZ ネットワークに接続するための最低条件をその品目が満たしていることを Spark NZ が同意したことのみを示しています。Spark NZ が製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を提供するものでもありません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Spark NZ の全ネットワーク サービスと互換性があることを示すものでもありません。

適合情報（ブラジル）

Art. 6º - 506

この装置はセカンダリタイプのデバイスです。つまり、同じタイプのデバイスによって引き起こされた干渉であったとしても有害な干渉に対する保護はなく、プライマリタイプのデバイスに対していっさいの干渉を引き起こすこともできません。

詳細については、次の URL を参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Anatel サイト : <http://www.anatel.gov.br>

モデル	証明書番号
7811	0897-15-1086
7821	3844-13-1086

モデル	証明書番号
7841	3842-13-1086
7861	3844-13-1086

適合情報（日本）



クラス B 機器の VCCI コンプライアンス

FCC 適合宣言

連邦通信委員会（FCC）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

FCC Part 15.19 に関する宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

FCC Part 15.21 に関する宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザーがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

本機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作指示に従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の規格に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。

- 装置またはデバイスとの距離を離す。
- レシーバ以外のコンセントにその装置を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書 (EULA) は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>

法規制の遵守および安全性情報

Regulatory Compliance and Safety Information (RCSI) は次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/7800-series/regulatory_compliance/RCSI-0312-book.pdf

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。